

手旗・・・
前にやったような・・・
忘れちゃったなあ・・・






それじゃ、思い出せるように、練習しよう♪



ぼちぼち～



-  サルの「フランキー」
-  ニシキヘビの「カー」
-  ハゲワシの「ジィギィ」

クマの「バルー」

手旗 目 次

表紙・目次		ページ番号	
1	班長さん・次長さん 教えて♪【その1】	P. ①	1 旗の持ち方・旗の左右・仕舞い方
2	『旗あげゲーム』	P. ②	2
3	班長さん・次長さん 教えて♪【その2】	P. ③	3 旗の振り方・原画
4	原画図	P. ④	4
5	原画一覧	P.	5
6	50音一覧	P.	6
7	交信区別形象	P.	7 起信形象～略語形象
8	記号形象	P.	8 数字形象～問符形象
9	班長さん・次長さん 教えて♪【その3】	P. ⑤	9 進級課題・技能章細目の抜粋
10	『アルプス一万尺』 替え歌	P. ⑥	10 よく使う交信区別形象・記号形象
11	班長さん・次長さん 教えて♪【その4】	P. ⑦	11 文字形象
12	文字や数字の打ち方	P. ⑧	12 基本的な文字と数字の打ち方
13	文字や数字の打ち方【続】	P.	13 応用的な数字・欧文(アルファベット)などの打ち方
14	『通信ハイキング』 おまけ	P. ⑨	14
15	交信の要素【指呼・信号文・送信】	P.	15 簡略
16	交信の基本【指呼 - 応信・送信 - 解信】	P. ⑩	16 簡略 起信の意味ふたつ(指呼と始信)
17	消信 及び 再送 【送信者 一部取消】	P. ⑪	17 消信形象 打ち間違いの訂正
18	消信 及び 再送 【送信者 全部取消】	P. ⑫	18 消信形象 終信形象 信号全部の取り消し
19	消信 及び 再送 【受信者 一部不明】	P. ⑬	19 消信形象 ○○ カラ サラ
20	消信 及び 再送 【受信者 全部不明】	P. ⑭	20 消信形象 サラ
21	照 校	P.	21 ムニ イナ ヨシ
22	中継法2【中継依頼 中継その1】1/3	P.	22 送信者→中継者 依頼
23	中継法2【中継遂行 中継その2】2/3	P.	23 中継者→受信者 遂行
24	中継法2【中継報告 中継その3】3/3	P.	24 中継者→送信者 報告
25	長文の送信 【句点】	P. ⑮	25 区切り 第14原画 句点形象の用法
26	二以上の信号文の送信 【新章】	P. ⑯	26 区切り 第7原画 新章形象の用法
27	中止 及び 再開【送信者 中止・再開】	P.	27 句点形象 マテ
28	中止 及び 再開【受信者 中止・再開】	P.	28 消信形象 マテ
29	『おどるハンテウワ』 おまけ		
30	文字形象 (ABC順) 早見表	P.	30 交信区別・記号形象、指定・手続記号、数字傍訓
31	文字形象 (原画順) 早見表	P. ⑰	31
32	文字形象 (50音順) 早見表	P. ⑱	32

ネーム

ここまでできれば、大したものだ♪



手旗 資 料

資料・目次

ページ番号

1 . 交信の基本【指呼 - 応信・送信 - 解信】	P .	35 詳細
2 . 交信の要素【指呼・信号文・送信】	P .	36 詳細 指定記号 手続記号
3 . 指呼 - 応信・送信 - 解信	P .	37 詳細
4 . 消信 及び 再送	P .	37 手続記号 サラ
5 . 照 校	P .	38 指定記号 ムニ 手続記号 イナ ヨシ
6 . 数字の送信	P .	38
7 . 数字傍訓	P .	38
8 . 記号の筆記	P .	38
9 . 欧文の送信	P .	38
10 . 中継法1	P .	39 中継を買って出る場合
11 . 中継法2	P .	39 中継を依頼する場合
12 . 長文の送信	P .	40 句点形象
13 . 参考 二以上の信号文の送信	P .	40 新章形象
14 . 中止 及び 再開	P .	40 手続記号 マテ

ほほう！おぬし♪
 ここまでマスターなら、スカウトのなかで
 日本一の手旗の使い手かも知れぬぞ♪




ページ番号『29』・『33』・『34』は、ありません。






気が向いたら、体操の代わりに、練習してみようかな♪

からだを動かさないと、あたまも良くならないし・・・

項 目	自由に記録帳として使ってね♪ 日付けを入れるといいわね♪	
1 原 画 (0原画、第1～14原画、逆2原画)		
2 ア行		
3 カ行		
4 サ行		
5 タ行		
6 ナ行		
7 ハ行		
8 マ行		
9 ヤ行		
10 ラ行		
11 ワ行		
12 濁点・半濁点・長音		
13 交信区別・記号の形象		
14 総合練習		



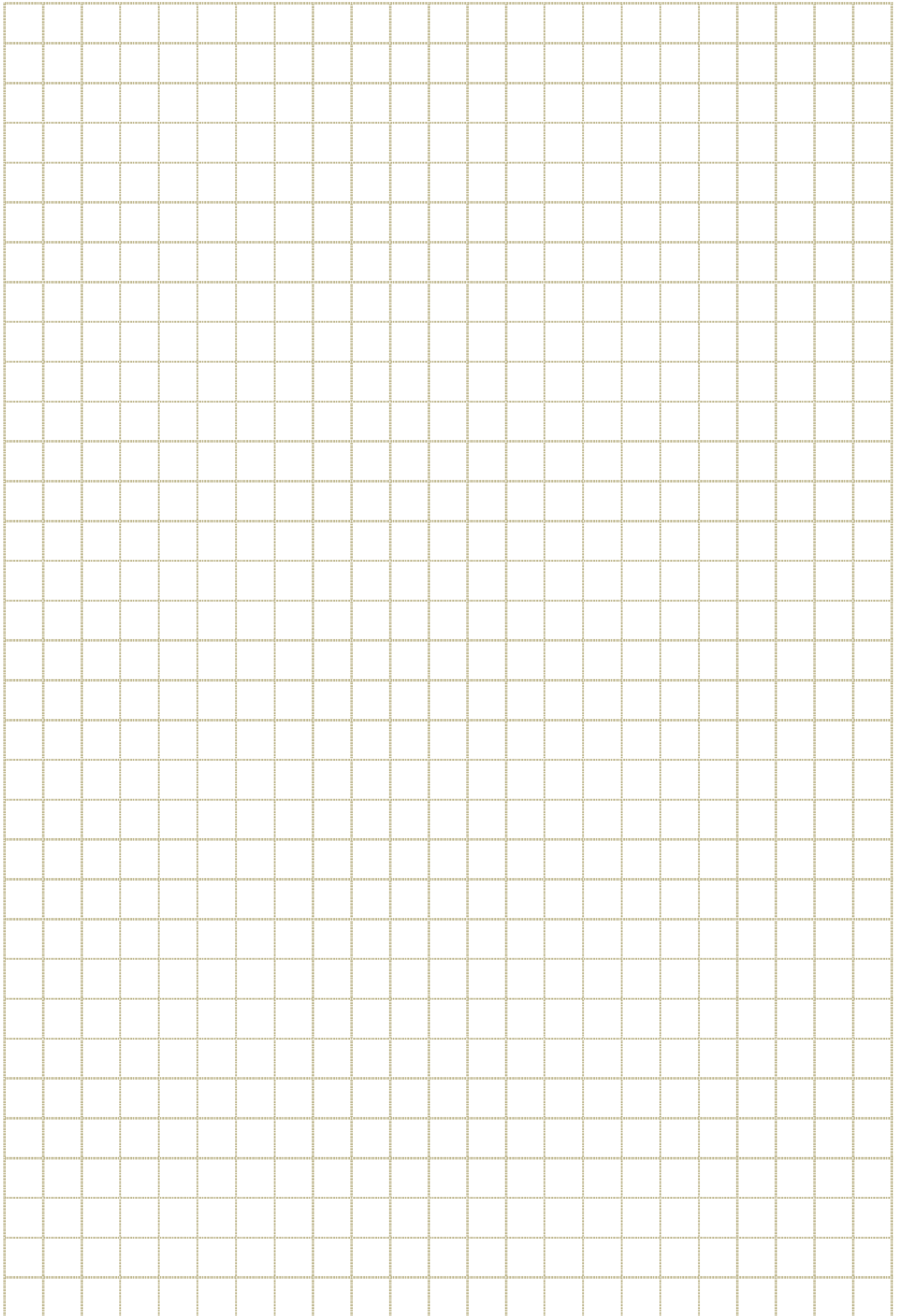
原画を覚えたら、次は、カナ文字を形であらわしてみよう。

多くの文字は、受け手にとって、カタカナに見えるようになっているよ。

だから、送り手は、カタカナをひっくり返した形にするよ。

いっぺんに覚えるのは大変だけど、ちよとずつ、繰り返し練習していると、体になじんで、自然に覚えられるよ。仲間に『ス 1 2 5』と読み上げてもらいながら、送る方法もあるけど、やっぱり、体が動作を覚えないと、なかなか うまくはできないよ。

右手に赤旗、左手に白旗 まずは、体を動かしてみよう♪





旗の持ち方

- ・人差し指を伸ばし、柄を押さえ、親指と一緒に旗が真っ直ぐになるようにする。残りの三指(中指、薬指、小指)で柄を握る。「包丁の握り方」と覚える。

にじまないもので
名前を入れておこう♪
みんなが、同じものを持つてから
名前がないと、分からなくなるよ♪



旗の左右

- ・赤旗は右手に、白旗は左手に持つ。「赤い実 白砂」と覚える。

- ・赤旗は右手、白旗は左手 これをしっかりと身体で覚える。

白砂青松(はくしゃせいしょう)
意味: 白い砂浜と青々とした松林、日本の美しい海岸の風景
この“砂”の字は元々は“沙”という字だったようね♪
“白砂”は、“はくさ”と読むこともあるようなので、
ここでは、“はくさ”と読んでね♪

『旗あげゲーム』YouTubeなどでも紹介されているよ♪
赤あげて♪白あげないで♪赤さげる♪
赤あげて♪白あげて♪赤さげないで♪白さげる♪

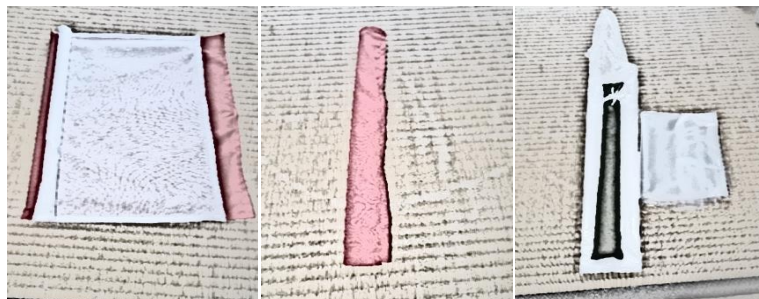


- ・声のトーンは高めに、楽しげにリズムをつけて行うとよい。

旗の仕舞い方

- ・① 先に 白旗を 数回巻き、赤旗に 重ねる。
- ・② 白旗を 赤旗で 包むように巻く。
- ・③ 雨などで 濡れないようにする。
- ・たまには、手もみ洗いで、キレイにしよう。

- ・白旗が汚れると背景と区別し難くなるため、汚れが付かないようにしよう♪
- ・雨天時に使用した際は、赤旗の色が、白旗に移らないようよく乾燥させてから仕舞う。
- ・色移りしないよう工夫しよう♪



①

②

③



ザック(リュック)のなかで、水筒のお茶をこぼしたり、お弁当の汁が出て、大事な進級手帳や手旗などを濡らして、汚してしまうことがあるね。
また、ハイキングやキャンプ中、雨になり濡らしてしまうことも…。
ザック(リュック)の中身を濡らさないように工夫してみよう。

『旗あげゲーム』



赤あげて 白あげて 赤さげないで 白さげる 赤さげて 白あげて 赤あげた～ら 白さげる



なかなか やるわね♪

かんたん かんたん♪



じゃ～ だんだんと
スピードあげるね♪



赤あげて 赤さげて 白あげたら 赤☆@白△Ω@≥θ◎×○◇▽@!.....☆ミ
ゴオー



ちよ ちよちよ ちよつとー
うわあ～ はやすぎ～♪
＼(@◇@)♣

わあ～はっや～い

ぼくはめがまわる～



さすがに はやすぎた ♪
(=・^・=)てへ ♪
みんなも アレンジしてみてね ♪



旗の振り方



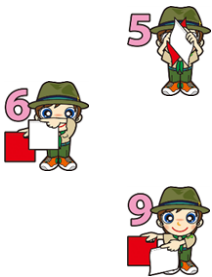
- ・旗の持ち方、原姿の姿勢を確認する。
- ・両脚は左右に少し開き、安定した姿勢をとる。背筋を伸ばす。
- ・腕の付け根を力点に、腕・人差し指・旗先まで、真っ直ぐにする。第6原画など特別なものを除いて、基本は、手首や肘を曲げない。
- ・上へあげる旗は 前からあげ、前からおろす。
- ・横や斜め下へ出す旗は 横から出し、横からおろす。
- ・斜め上へ出す旗は 足先から出し、足先へおろす。



第11原画などは、体をひねらない。まっすぐな姿勢を保とう。ついつい、自分の旗を見てしまう。旗の方を見てしまうと、姿勢が崩れてしまうよ！

例：第7原画の場合

赤旗(右手)は前から上へあげる。
白旗(左手)は横から出す。



- ・第5原画は、両腕を真っ直ぐ上にあげると同時に、手首を曲げて白旗を前に交差する。**肘を曲げない**、手首を曲げる。手のひらが気持ち上向きになってもよい。
- ・第6原画は、左手を前から体側を離れないよう最短を移動し、頭上で右方水平に出す。
- ・第9原画は、白旗がしっかり体側より外になるようにする。

原画

- ・改めて、旗の持ち方、原姿の姿勢を確認する。
- ・最初はゆっくり、動作を確認しながら行う。



原画は、カナ文字や数字を表わすのに使うんだ♪



通信や交信の「信」は、「まこと」とも読むよ。真実、誠実、信頼などにも通じるね♪



水平にすべきところは水平になっているか
斜めにすべきところは斜めになっているか など
相手(受信者)に伝えるためには、形がとっても大事なことを指導する。

- ・原画を全員で練習した後、2人一組などで、交互に、原画の形象と読む練習をする。
- ・原画の練習(送信の形象・受信の読み)は、特にしっかり行う。

なんども旗をふっていると
自然と体がおぼえてくるよ♪



指先や体を動かすのは、脳細胞にも良いのよ♪
手旗の練習は、運動にもなって、一石二鳥よ♪



まずは、原画(げんかく)を体で覚えよう。
 広いところで、人や物に 当たらないところで練習だよ
 お部屋とか、人や物があるところなら、旗を短く持ったり、
 旗のかわりに、別のもの(例、ハンカチ)で代用して、
 あぶなくないようにしよう。

原姿(げんし)は、文字(カナ文字や数字)を送る前 や 送った後 の姿勢だよ。
 一文字ごとに この姿勢に戻るのだ。記号などを送る場合も同じだよ。



右手に赤旗 左手に白旗 人さし指・親指を伸ばし、にぎる

数字を送信するときに使うのは、0原画 と 第1原画から第9原画 までだよ。

カナ文字を送るときは、第1原画から第14原画、それと逆2原画を使うよ。



第5原画は、両うでをまっすぐ 上にあげて、
 同時に、両手首を曲げて、旗のなかほどで、
 交差するのよ。
 両ひじは、曲げないように気を付けよう。
 このとき、白旗が赤旗の前になるように。



第6原画は、左腕は、イメージとしては、
 頭のうえで、直角に曲げるといいよ。
 白旗は体の前から最短距離で移動よ♪



赤あげて♪ 白あげかわりに♪ 赤さげる♪

ふ〜ん なんだか楽しそうね♪ そろそろ…



☆後のページで、“文字”と記載があるのは、基本的にはカナ文字で、数字の場合は“数字”と記載してます。



旗は、人差し指を旗先の方へ伸ばし、親指とともに柄を支え、残りの三指で握る。(包丁の握り方)
 第6原画などの特殊な場合を除き、腕の付け根、肩関節を起点に、旗先まで真っ直ぐ伸ばしたまま動かす。体の軸はまっすぐに、
 文字形象は、メリハリを付け、第1動から第2動へ・第2動から第3動へは、最短距離を通るように心掛ける。

第15条1 原画形象	形象	作為法	用途		
げんし 原姿		両手を垂直に垂れる。両足を半歩開き、安定した姿勢をとり、交信相手に正対する。高所などでは安全帯等で転落防止をする。	濁点・半濁点・長音も一文字とする。一文字形象ごとに原姿に戻る。数字・記号形象・交信区別形象も同じ、原姿に戻る。		
れいげんかく 零原画		右手をもって垂下の位置から左方に大きく廻し1円を画く。肘を曲げず、肩関節で回す。	数字 0		
いち 第1原画		両手を左右水平に横から出す。横へあげる旗は、横からあげる。横にある旗は、横からおろす。	数字 1	文字	
に 第2原画		左手を垂れ、右手を垂直に前からあげる。上へあげる旗は、前からあげる。上にある旗は、前からおろす。	数字 2	文字 長音 ー	交信区別の第1動
さん 第3原画		左手を左45度上に足先から、右手を右45度下に横から出す。	数字 3	文字 ノ	
し 第4原画		右手を右45度上に足先から、左手を左45度下に横から出す。	数字 4	文字 へ	
ご 第5原画		両手を垂直に前から頭上にあげ、同時に両手首を曲げて旗の中ほどで交差する。肘は曲げない。	数字 5	文字	
ろく 第6原画		右手を右方水平に、左手を前から体側を離れないよう最短を移動頭上から右方水平に出す。白旗(左手)のあげおろしは前から最短を移動。	数字 6	文字 ニ	
しち 第7原画		右手を垂直に前からあげ、左手を左方水平に横から出す。	数字 7	文字 レ	記号 新章『 やや長く形象等
はち 第8原画		左手を垂れ、右手を右方水平に横から出す。	数字 8	文字	
く 第9原画		右手を右方水平に横から出し、左手を前から最短距離を移動し、右手の約35度下にしっかり出す。	数字 9	文字 フ	
じゅう 第10原画		両手を左右45度上にあげる。斜め上にあげる旗は、足先からあげる。斜め上にある旗は、足先へおろす。		文字 ハ	交信区別の第1動
じゅういち 第11原画		両手を平行のまま左45度上から右45度下に振り下す。右肘(赤旗側の肘)を少し曲げながら頭上へ、前から最短で移動。おろす際姿勢を崩さない。		文字 ク	記号 帰除線 /
じゅうに 第12原画		両手を垂直にあげる。あげおろしの間隔は、肩幅の距離を保つ。上へあげる旗は、前からあげる。上にある旗は、前からおろす。		文字 リ	交信区別の第1動
じゅうさん 第13原画		右手を垂れ、左手を左45度上に足先からあげる。		文字 濁点 〃	記号 数字 △ 3倍長く形象
じゅうし 第14原画		左手を垂れ、右手を右45度上に足先からあげる。		文字 半濁点 〃	記号 句点 、 3倍長く形象等
逆2原画 (白2原画)		右手を垂れ、左手を垂直に前からあげる。		文字	逆2原画(白2原画)は、文字形象 チ・エ に用いる。応信形象は、第2原画と逆(白)2原画とを交互にあげる。

ア 9 3
イ 3 2
ウ 6 9
エ 1 逆2 1
オ 1 2 3

カ 8 3
キ 6 2
ク 11
ケ 7 3
コ 8 1

サ 1 12
シ 5 7
ス 1 2 5
セ 9 7
ソ 5 3

タ 11 5
チ 7 逆2
ツ 12 3
テ 6 3
ト 2 5

ナ 1 3
ニ 6
ヌ 9 4
ネ 9 2 1
ノ 3

ハ 10
ヒ 1 7
フ 9
ヘ 4
ホ 1 2 10

マ 9 5
ミ 6 1
ム 7 5
メ 3 5
モ 6 7

ヤ 8 4
イ A
ユ 9 1
エ
ヨ 8 6

ラ 5 9
リ 12
ル 3 7
レ 7
ロ 7 8

ワ 2 9
ヰ 6 12
ウ
ヱ 9 3 1
ヲ 1 9

ン 5 1
濁点 13
半濁 14
長音 2

受信のときのコツ

- ① 次の文字を予想しない。予想が外れると混乱してしまうからだよ♪
- ② 分からないところがあっても、あせらず こだわらず 後の文字を読むことに集中だよ♪
- ※ 交信法に、不明なところの送りがおしなどお願いする方法もあるからね。
- ③ 不明箇所も前後の文字から推測できることもあるからね♪

手旗は、日本独自の旗による信号法だ。手旗のアルファベットは日本独自だから、外国の人との交信には使わないぞなワシ♪



交信区別形象

第15条4 交信区別形象	形象	作為法	第1動	用途
起信		両手を垂直にあげ、各左右水平方向まで適当な回数振る。 ※ 指呼の場合は応答あるまで連送		指呼: 受信者を指呼する場合 又は 始信: 送信を始める場合に用いる。
応信		両手を交互に(赤旗・次に白旗と交互に)適当な回数上下に振る。 ※ 対指呼の場合は指呼をやめるまで連送		信号に応じる場合に用いる。
中継		両手を左右斜前45度上に出し、前方で交叉させて適当な回数振る。	 第10原画より前	信号を中継する場合 始信の合図の起信形象の代わりに用いる。
消信		右手を右45度上にあげ、垂直上方と右水平方向との間で適当な回数振る。 		信号の全部又は一部を取り消す場合に用いる。
終信		第12原画 ※ やや長くあげる。		送信を終った場合に用いる。
解信		両手を垂直にあげ、平行のまま左右に左、次は右へと適当な回数大きく振る。		信号を解読した場合に用いる。
発動		第14原画をやや長めにあげ発動用意。 右手をさっと下し 発動。		発動を表す場合に用いる。 送信開始を明確にするため、信号文の前に用いる。
略語		両手を左右斜前45度下に出し、前方で交叉させて適当な回数振る。	 括弧形象より前	略語の前後に附する。

※ 略語形象は、現在、日本船舶信号法では使用されていない。

※ 応信形象の作為法は、2旗を直立又は交叉して片手に持ち上方にあげて上記の方法に代えることができる。

※ 以前(昔)は、2旗を片手に持ち 応信形象なら上下に振り、解信形象なら左右に大きく振ることによって、上記表中の方法に代えていた。

発動の例： ▶送信者 起信(指呼) ▶受信者 応信 ▶送信者 起信(始信) - 発動 - 信号文(本文) - 終信 ▶受信者 解信

略語の例： 山鳩班の班長を“ヤノハ”と略すこととしていた場合 “略語形象 ヤノハ 略語形象”となる。



発動は、かけっこのときにも使えるね♪
位置について、用意 ドン!

発動について
スカウト関係の資料では、起信の後に用いると記載があります。
起信-発動-本文-終信

記号形象

第15条3 記号形象	筆記に使用	形象	作為法	用途
数字 一名(別名) 白旗	△		第13原画 ※ 濁点の3倍長くあげる。	数字を送信する場合に用いる。
読点	。		左手を垂れ、右手を右45度下に出す。	小数点として、 又は 帯分数の整数と分数との間に用いる。 “整数 読点 小数”の順 “整数 読点 分子 帰除線 分母”の順
帰除線	/		第11原画	帰除線として用いる。 “分子 帰除線 分母”の順
括弧	()		両手を左右45度下に出す。	信号文中に註釈又は数字傍訓を挿入する場合又は名詞等でその解読に便ならしめる必要がある場合に、その前後に附する。
句点	,		第14原画 ※ 半濁点の3倍長くあげる。 ※ 解読・応答を求める場合は、応答あるまで(解信)	各符字、語句等の間に用い、その区切を表わす。 和文中の欧文単語の間にも用いる。
小括弧	「 」		右手を垂れ、左手を左方水平に出す。	和文中に欧文(アルファベット)を含む場合にその前後に附する。
新章	『 』		第7原画 ※ やや長くあげる。 ※ 解読・応答を求める場合は、応答あるまで(新章)	二つ以上の信号文を送信する場合信号文の間に用い、その区切を表わす。
もんぷ 問符	?		右手を垂れ、左手を左45度下に出す。	照校や転送時脱字等の不明箇所用いる。

※ 問符形象は、現在、日本船舶信号法では使用されていない。

※ 句点は読まない形象、読点は読む形象。日常、文書で使うそれらとは意味が異なる。

※ 日本船舶信号法では、信号文を作成等する際、句点は“、”と書き、読点は“。”と書く。

「ニ△3(ミ)ツレ」



句点の例：キウイ 句点形象 ミカン 句点形象 クリ キウイ 、 ミカン 、 クリ

数字の例：一組の数字 例えば 1 2

小数点以下の数字がある場合、読点を用いる。

数字形象 整数 読点 分子 帰除線 分母 数字形象 の順に形象

数字形象 整数 読点 分子 帰除線 分母 括弧形象 数字傍訓 括弧形象 の順に形象

△ 1 2 △

△ 3 。 5 △

△ 1 2 (ヒフ)

△ 3 。 5 (ミ。イ)

△ 3 。 1 / 2 △

△ 3 。 1 / 2 (ミ。ヒ / フ)

括弧内にも読点・帰除線を使うよ♪

括弧の例：“カキが食べたい”では、果物のカキか、海産物のカキか判らない。 注釈：カキ(クダモノ) カキ(カイサンブツ)

小括弧の例：It is a piece of cake 「ム、ラ、イ、ツヘニヘ、レチ、ニイワヘ」 ※単語と単語の間は、句点で区切る。

このページ、初見者はスキップ



班長さん・次長さん 教えて♪【その3】



原画のほか いっぱいあるみたい・・・こんがらがっちゃう



あははは 心配しなくても 今すぐ全部をできるようになる必要はないよ♪
まずは、文字の形象の仕方と、よく使う交信区別・記号の形象、その用い方を覚えよう♪
替え歌を考えてきたんだ。それで覚えよう♪



君の場合は、今、初級だから、“原画の**理解**”と“10文字程度の**語句**”の“発信と受信”ができれば合格ね♪
理解は“わかった”ってことで、暗記することではないよ♪

え、じゃ 先週の集会で教えてもらった 0(レイ)～14原画・・・それと逆の2原画があって
1～14原画 と 逆の2原画 でカナ文字を作ること それと、0原画 から 9原画 までを 数字で使うっ
てことでのいいの？



そうそう、そういうこと。それにしても“理解”でいいところ プラスアルファ 覚えてるなんてえらい♪
あとは、10文字程度の語句の発信と受信ね♪ “程度”なのと“語句”でいいのよ。
必ずしも10文字以上でなくてもいいし、文章である必要はないよ。“しりとり”などで練習すればいいよ♪

まずは、それぞれの級や技能章、進級手帳に基準がちゃんと書かれているから、
よく読んで各自取り組めばいいのね。ことさら難しく考えることないのね♪



そういうこと♪

書いていることが合格の基準で、それ以上でもそれ以下でもないよ。

もちろん、合格したら、それを励みに更なる高みを目指そう♪

それぞれの課題への挑戦は、各自の取り組み・努力と、班の仲間との協力・助け合うことの両方が大事だ。

“できる”の状態になるよう、どう努力し、考えて工夫したかだね♪

一人で頑張ることも大事、だけど自分一人では難しいとき、仲間に協力を求めることも大事だよ♪

それと、仲間のSOSには、しっかり協力してあげよう♪



参考	2級・課目 片かな手旗信号で 15 の原画を 理解 し、10 文字 程度 の 語句 を発信、受信 できる 。
R6.4.1	1級・課目 片かな手旗信号で 20 文字 以上 の 文章 を発信、受信 できる 。
現在	技能章課目 10.通信章・細目 隊長認定 100m以上離れた2点で手旗の 送受信 ができる。
	技能章課目 45.信号章・細目 考査員認定 手旗信号法を 知り 、野外の 150m以上離れた2点間 で 正しい交信符号と手順 を用いて、 数字を含む 150字の 通信文 を1分間35字の 速度 で 発受 し 10字以上を誤らぬ こと



次長、そろそろ誰か言い出さないかな。集会所だけでは十分な訓練にならないからね♪

ふふ そうね♪ 発信・受信ができるようになって、距離が遠くなるほど認識するのが難しいから♪
早めに経験した方がいいわね♪ 班長、それにしても不思議ね♪ 遠いとなぜ難しいのかしら？



危険に対して、遠くのものより近くのものだろ？意識しないとイケないのは近くの危険だからじゃない？
それで、遠くのものに対しては認識がしづらいんじゃないかなあ？
1級と通信章とで、ねらいを変えているんだね♪

『アルプス一万尺』 替え歌

あるぶす	いちまんじゃく	こやりの	う～えで	あるぺん	おどりを	さあおどりましょ	へい♪
アルプス	一万尺	小槍の	上で	アルペン	踊りを	さあ踊りましょ	へい♪
※ ランラ ララ	ララ ララ	ランラ ララ	ラララ	ランラ ララ	ララ ララ	ラララ ラン	ラン♪
あかいみ	みぎてに	はくさに	た～てば	よ～こに	はんぼひらいて	あいてにせいたい	へい♪
赤い実	右手に	白砂に	立てば	横に	半歩開いて	相手に正対	へい♪
※ ランラ ララ	ララ ララ	ランラ ララ	ラララ	ランラ ララ	ララ ララ	ラララ ラン	ラン♪
ひとさし	おやゆび	はたさきへ	の～ぼし	さんしで	にぎいて	まっすぐのぼせ	へい♪
人差し	親指	旗先へ	伸ばし	三指で	握って	真っ直ぐ伸ばせ	へい♪
※ ランラ ララ	ララ ララ	ランラ ララ	ラララ	ランラ ララ	ララ ララ	ラララ ラン	ラン♪

☆ 日本の屋根 日本アルプス
北アルプスの槍ヶ岳(やりがたけ) 標高3,180m
その手前(標高一万尺辺り)にある岩峰を
小槍と云う。
一尺は約30.3cmなので、一万尺は約3,030mとなる。



リズムのよい歌や曲を探して
みんなも 楽しい替え歌作ってみよう♪

れいげんかく	いちげんかく	に～げんかく	さんげんかく	し～げんかく	ご～げんかく	ろくげんかくだ	へい♪
零原画	一原画	二原画	三原画	四原画	五原画	六原画だ	へい♪
※ 0	1	2	3	4	5	6	6
※ ランラ ララ	ララ ララ	ランラ ララ	ラララ	ランラ ララ	ララ ララ	ラララ ラン	ラン♪

替え歌で楽しく練習
※ランラ ララ・・・
この間に、前後交替よ♪

れいげんかく く～げんかく
すうじ けいしょう
いちげんかく じゅうしげんかく
かなもじけいしょう へい♪

しちげんかく	はちげんかく	く～げんかく	じゅうげんかく	じゅういちげんかく	じゅうにげんかく	じゅうさんげんかく	じゅうし♪
七原画	八原画	九原画	十原画	十一原画	十二原画	十三原画	十四♪
※ 7	8	9	10	11	12	13	14
※ ランラ ララ	ララ ララ	ランラ ララ	ラララ	ランラ ララ	ララ ララ	ラララ ラン	ラン♪

原画のところまでを繰り返してもよいの♪

さ～きにしろはた すうかい ま～いて
先に 白旗 数回 巻いて
あかはたに かさねて まいてしまえ へい♪
赤旗に 重ねて 巻いて仕舞え へい♪

ほかの形象も使って、歌詞を替えてもいいよね♪

起信・応信・中継・消信・終信・解信・発動・略語
句点・新章・数字・括弧・小括弧・読点・帰除線・問符

きしんけいしょうで	しこす～れば	おうしんけいしょうで	おうとう	きしんけいしょう	ししんのあいずだ	しょうしんけいしょう	サラ♪
起信形象で	指呼すれば	応信形象で	応答	起信形象	始信の合図だ	消信形象	サラ♪
※ 1	2	3	4	5	6	7	8
※ アハハハ	ハハハハ	アハハハ	ハハハ	アハハハ	ハハハハ	アハハハハ	テヘ♪

赤旗・白旗 交互

ちゅうけいけいしょう	ししんのかわりだ	く～てんけいしょう	くぎりのあいずだ	すうじけいしょう	しゅうしんけいしょう	かいしん こうしん	おわわりの♪
中継形象	始信の代わりだ	句点形象	区切りの合図だ	数字形象	終信形象	解信 交信	終わり♪
※ 9	10	11	12	13	14	15	16
※ ランラ ララ	ララ ララ	ランラ ララ	ラララ	ランラ ララ	ララ ララ	ラララ ラン	ラン♪

◎ ぜんごにははさんで しゅうしんかいしん おわわりの♪

さいとの	てんけん	あ～とが	み～えぬ	や～えい	したの	わがはんだ	よし!!
サイトの	点検	跡が	見得ぬ	野営	したの	我班だ	ヨシ!!
※ ランラ ララ	ララ ララ	ランラ ララ	ラララ	ランラ ララ	ララ ララ	ラララ ラン	ラン♪

(上級班長なら “我 隊だ”)



班長さん・次長さん 教えて♪【その4】

文字形象



- ・文字の形象は、第1動から第2動へ・第2動から第3動へは、**最短を心掛ける**。
- ・最初はゆっくり、動作を確認しながら行う。刹那とめ、メリハリをつける。
- ・送信者はカタカナの裏文字(カタカナをひっくり返した形)を画(えが)く。受信者にとってはカタカナにみえるようになっていることを確認する。第1動だけで、カナ文字を形象する「クリノハニフレヘ」が説明しやすく、初心者には分かりやすい。

- ・赤旗が、おおむねカタカナの書き出しになる。
- ・カタカナの書き順を意識する。

- ・ア行、カ行、サ行など、行ごとに練習する。
実際に旗を動かしての練習(読み上げは最初ゆっくり、慣れればテンポよく)
8拍で一文字形象 イチ・ニ♪サン・シ♪ゴ・ロク♪シチ・ハチ♪
慣れれば4拍で一文字形象 イチ♪ニ♪サン♪シ♪
「9-3 ア」「3-2 イ」という具合に読み上げながら練習する。
「ア9-3」「イ3-2」という具合に読み上げながら練習する。
2人一組などで、交互に、文字形象を受信して読む練習。

ある程度 体で覚えたら、ちょっとした時間には、
目をつぶって、頭の中でイメージトレーニング
第1動、第2動、第3動と次々と頭に思い浮かべる。

※ロープ結びなども、最初は床の上などで、本を見ながら結びを作り、結びの特徴のイメージを頭に焼き付ける。次に結びを繰り返し行い、手で結びの順を覚える。そうすると、頭の中でロープの端などをどう動かすか、イメージできるようになるよ♪

チェック

- ・間違えやすい文字、混乱しそうな文字など、各自確認する。
送信する場合、受信する場合の両方をチェックする。

送信する場合のチェックは、カナを読み上げてもらい 形象できるか確認

受信の場合のチェックは、カナ文字を形象してもらい 読めるか確認

受信は結構むずかしいのよ♪
ある意味、送信よりむずかしいの
カタカナの裏文字といっても、
旗の位置が色々だから！
しっかり 何度も見て 慣れるしかないわね。
でも 大丈夫 仲間がいるから♪



ぼちぼち～♪



カナ文字とちょっと違うもの
「ハホヘチヲタレツラムクヤケミシン」

カナ文字とまったく違うもの
「ウ」

カナ文字の代わりにあてたもの
「ネ」は「子」「ス」は「寸」

逆2原画になるもの
「チ」「エ」

迷いそうなもの 例 順番を間違えそうなもの 例
「ウラワヲ」「ソツシン」 「ソメ」「ユヲ」「ヨ」「ロ」
「ヤヌカ」「ケチ」「ヘノ」

その他 各自チェック
自分が受信するとき、間違えやすいカナ や パツとひらめかないカナ
自分が送信するとき、間違えやすいカナ や 忘れやすいカナ など

文字や数字の打ち方

第1動から第2動、第2動から第3動へ、一文字を形象するまで、原姿には戻らないよ♪
メリハリをつけて、原画をしっかりと瞬間とめて、次の動作へ移るんだ。
次の動作に移るときは、最短を心掛けるんだ。
一文字を形象し終わってから原姿に戻るんだ♪



エイチ	工				イ			子		
	第1動	第2動	第3動		第1動	第2動		第1動	第2動	
形象										
原姿	1原画	逆2原画	1原画	原姿	3原画	2原画	原姿	7原画	逆2原画	原姿

スネ	ス(寸)			ネ(子)		
	第1動	第2動	第3動	第1動	第2動	第3動
形象						
原姿	1原画	2原画	5原画	9原画	2原画	1原画



濁点や半濁点、それと 長音は、それぞれ一文字とするのよ♪



ここからは、見やすくするため、原姿の絵柄は省略するね♪
実際に文字を形象するときは、一文字ごと、原姿に戻ってね♪

ボーイ 濁点	ホ			(濁点)	ー(長音)	イ	
	形象						
原姿	1原画	2原画	10原画	13原画	2原画	3原画	2原画

ポール 半濁点	ホ			°(半濁点)	ー(長音)	ル	
	形象						
原姿	1原画	2原画	10原画	14原画	2原画	3原画	7原画



各数字は、一文字として形象するよ♪
一組(ひとまとまり)の数字を数字形象で包むんだ♪
下記は“106”という一組の数字を送信しているんだよ。



覚え方

濁点 は 白濁 (はくたく)
半濁点 は 赤飯 (せきはん)

106	3倍長めに 数字開始	1	0	6	3倍長めに 数字終了
形象					
原姿	数字	1原画	0原画	6原画	数字
筆記の際の記号	△	1	0	6	△

※上記は、数字原画法

数字の開始だよ～で、第13原画
数字の終了だよ～で、第13原画

この数字の開始と終了の合図は、第13原画を濁点形象の3倍長く、旗をあげておきます。
濁点と区別するためよ♪

分数の例 例えば、2分の1 の場合 △1/2△ となるよ♪ 数字形象 分子 帰除線 分母 数字形象の順よ♪



記号	数字	帰除線	句点	新章
形象				
筆記に使用	△	/	,	〒



時刻は24時間で4桁表示
午後3時 5分なら、△1505△ジ
午前8時20分なら、△0820△ジ
単位など、忘れないでね♪

昔の手旗信号では、
“ウ”の形象で、⑤-②-⑨
というのがあったけど、
現在の“ウ”は、⑥-⑨ だけだよ♪

文字や数字の打ち方 【続】

下記は“20”という一組の数字を送信しているよ♪
 大事な数字を送るときは、読み間違いを防ぐために、一組の数字の後、数字傍訓を送るよ♪
 数字傍訓は括弧(カッコ)で包むよ。数字傍訓があるときは、数字終了の数字形象はいらないよ♪



20(フレ)	3倍長めに 数字開始	2	0	数字の 傍訓開始	フ	レ	数字の 傍訓終了					
数字(傍訓) 形象												
筆記の際の記号	△	2	0	(9	7)					
※上記は、数字傍訓法		数字傍訓法では、数字終了の数字形象は不要。										
数字を正確に送受信するための方法		数字 1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	
		数字傍訓 (文字形象)	ヒ	フ	ミ	ヨ	イ	ム	ナ	ヤ	コ	レ
			①→⑦	⑨	⑥→①	⑧→⑥	③→②	⑦→⑤	①→③	⑧→④	⑧→①	⑦



数字の“2”の数字傍訓は、文字形象の“フ”
 文字形象“フ”は第9原画で形象

数字の“0”の数字傍訓は、文字形象の“レ”
 文字形象“レ”は、第7原画で形象

第7条	数字	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
	数字傍訓 (文字形象)	ヒ	フ	ミ	ヨ	イ	ム	ナ	ヤ	コ	レ
		①→⑦	⑨	⑥→①	⑧→⑥	③→②	⑦→⑤	①→③	⑧→④	⑧→①	⑦

1.6	3倍長めに 数字開始	1	点	6	3倍長めに 数字終了
1点6 形象					
筆記の際の記号	△	1	。	6	△
※上記は、数字原画法		上記を数字傍訓法で送信する(筆記の際の記号で書く)と △1.6(ヒ.ム)となるよ。			

掃除線は、第11原画で形象するよ♪



3 $\frac{1}{6}$	3倍長めに 数字開始	3	と	1	/	6	3倍長めに 数字終了
3と6分の1 形象							
筆記の際の記号	△	3	。	1	/	6	△
※上記は、数字原画法		上記を数字傍訓法で送信する(筆記の際の記号で書く)と △3.1/6(ミ.ヒ/ム)となるよ。					

第15条3	記号形象	数字	読点	掃除線	括弧	句点	小括弧	新章	問符	※問符形象は、現在、 日本船舶信号法では 使用されていない。
	筆記に使用	△	。	/	()	、	「 」	『 』	?	

ホーフル 脱字等不明 形象	ホ	脱字等不明	一(長音)	ル			
筆記の際の記号	1	2	10	?	2	3	7

I d o 和文中の欧文 形象	欧文開始	I 濁点	3倍長めに 単語区切り	d ホ	o レ	欧文終了		
筆記の際の記号	「	13	、	1	2	10	7	」



英単語と英単語の間は、句点で区切ってね♪
 句点は、第14原画で形象するよ♪
 半濁点の3倍の時間、旗をあげておきます。
 半濁点と区別するためよ♪

略語の使い方(交信区別形象)

ヤノハ	略語開始	ヤ	ノ	ハ	略語終了							
略語 形象												
	原姿	略語	原姿	8原画	4原画	原姿	3原画	原姿	10原画	原姿	略語	原姿
※例 : あらかじめ、『山鳩班の班長』を『ヤノハ』と略すこととしていた。												

班で、略語を考えてね♪



『通信ハイキング』 おまけ

< 風の心地よいある春の日 >



みんな 原画や文字の形象の仕方は覚えた？

班長 練習あきちゃったよ～



わたし どこか行きた～い♪

さんせ～い♪おやつ持って行こうよ🍎



あっはっは おやつがねらいか～
…隊長どう言うかな？

ふふふ
班長の思惑
どおりね♪

班長 < 困蛇環池へショートハイキング >
『非常時にそなえよ 手旗で交信』
なんてどう？実際にやってみるのが一番よ♪
おやつ もとい 非常食も食してみないと♪
(実はおやつ)



わ～♪さすが次長
わ

お～♪さすが次長
いや ナイスアイデアです

よし♪それで計画し
上級班長にアドバイスもらって
隊長から承認をもらおう♪



- ※ 安全対策をしっかり行うこと、危険な箇所には近づかないこと 隊のリーダーに必ず相談し、その指示に従うこと
- ※ 水辺での活動時は、注意が必要です。ロープや班旗などを万が一にそなえて用意しておこう。
- ※ 風でハットが飛ばされるから、野球帽などの活動帽にしておこう。物より命の方が大事だよ!!
- ※ マムシやマダニなどに注意、草むらに入らない。
- ※ 来た時よりも美しく、ごみ袋を用意しておこう。風で飛ばされないよう、袋をあげっぱなしにしない、くくりつけておくなど

交信の要素【指呼・信号文・送信】簡略

第16条1・2	指呼と応信の仕方	● 指呼		応信	
		起信形象	連送	応信形象	連送

第2条	信号文の要素				
信号文の順序	指定記号	発信者名	着信者名	発信番号	本文
	必要のないものは、省略することができる				

- ※ 送信者・受信者は、交信を行う者。発信者・着信者は、信号文の差出人・受取人。
- ※ スカウトがゲーム等で行う場合、通常、送信者＝発信者、受信者＝着信者となる。
- ※ スカウトがゲーム等で行う場合、通常、本文のみとなる。
- ※ 中継の場合などは、発信者・着信者を省略してはならない。
- ※ 保護者から団委員長宛ての手紙をスカウトが預かり、隊長を通じて 団委員長へ
例 送信者(スカウト) | ハツ 保護者 アテ 団委員長 手紙 | 受信者(隊長)

送信合図の起信の前に、
一呼吸置くのがよいの♪

適当な回数
1回でよい場合もあるし、
数回必要な場合もある。
互いの技量に応じて行おうじゃ。



通信の技能章には
通信章(隊長認定)のほか
信号章(考査員認定)など
もあるぞ♪

第16条3	● 送信の基本要素				
起信 (始信)	● 信号文				終信
	指定記号	発信者名	着信者名	発信番号	
必要のないものは、省略することができる					
※下記ではすべて省略している。結果、本文のみとなっている。					

指呼の起信

簡略	送信者		受信者	
交信の基本	1 指呼:	起信形象	受信者の応信があるまで連送 一呼吸置く	
	3 送信:	起信形象	(始信) 適当な回数	
		信号文	本文	
		終信形象	やや長くあげる	
	4 解信:	解信形象	信号文が解読できたら形象	

※ スカウトがゲーム等で行う場合の交信は、通常、上記の省略をして、簡略した内容で行う。その結果、信号文の内容は、本文のみとなる。

始信の起信

むずかしそうな話だけど、かんたんに まとめると おなか減って ペッコペコてことだよ♪



上記のまとめ

① お〜い お〜い お〜い (指呼の起信)

あのね〜 (始信の起信) 話はじめ

カレーできたよ〜 (本文)

以上だよ〜 (終信)

② な〜に〜 よんだ〜♪ (応信)


③ 送信


④ わかった〜♪ (解信)

◎表中の“適当な回数”は1回でよい場合もあれば、数回必要な場合もある。回数の記載のない箇所でも、意図が伝わっていないなら、意図が伝わるよう繰り返すなどお互いの技量に応じ、分かりやすい交信を心がけよう♪

第16条1～4

交信の基本【指呼 - 応信・送信 - 解信】 簡略

送信者 甲 

受信者 乙 



送信側：信号文を読む役と手旗を振る役
50音覚えて慣れるまでは、送信側も受信側も2人一組(または3人一組)ですとよいよ♪

受信側：手旗信号を読む役と筆記する役
そなえよつねにいつでも筆記の準備万端♪

起信 ① **指呼**

応信あるまで		お～い 応答して～♪
--------	---	---------------

応信 ② そなえよつねにいつでも筆記の準備万端♪

起信(指呼)やめるまで		は～い 何だ～い♪
-------------	---	--------------

赤旗・白旗 交互

・ 一呼吸置き 起信(始信)から送信

起信 ③ **始信**

起信により送信開始

適当な回数		これから信号文 送信開始だよ～♪
-------	---	---------------------

		これから 受信だよ
--	---	--------------

※ここで発動を用いることがあるよ♪↓


信号文 ④

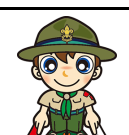
	～ 信号文 送信中 ～	
	本文	

	～ 信号文 受信中 ～	
	本文	

終信 ⑤ 終信により送信終了

やや長くあげる		信号文の 送信終了だよ～♪
---------	---	------------------

		解読確認中
--	---	-------

		無事解読できた みたいだよ
--	---	------------------

解信 ⑥

適当な回数		信号文を解読 できたよ～♪
-------	---	------------------

①の起信は、『指呼(しこ)』の合図よ。 ※ 指呼とは、交信の相手と呼ぶこと
③の起信は、『始信(ししん)』の合図よ。 ※ 始信とは、信号文の送信を開始すること
起信形象は、二つ意味があるのよ♪

重要な信号文等、筆記を必要とする場合、指呼①・応信②の後、手続記号“カケ”・“ヨシ”を使う。
送信者からの“カケ”の信号に対して、受信者は、筆記の準備ができたなら“ヨシ”と応答する。
“カケ”・“ヨシ”は、『そなえよつねに』、スカウトなら準備して②の応信をするよね♪
でも、大事な信号文の場合は、省略しないで、筆記の準備を互いに確認しよう!!



“一呼吸” これは、慌てないで落ち着いて交信しようという意味合いです。
適当に入れているので、こだわる必要はないよ♪

発動の例：▷送信者 起信(始信)③ - 発動 - 信号文④ - 終信⑤
始信(送信開始)の合図の起信に対しては、応信はいらないよ♪



消信 及び 再送 【送信者 一部取消】

送信者 甲 


受信者 乙 


送信者
一部取消

信号文
・
～ 信号文 送信中 ～

→
・
～ 信号文 受信 中 ～

消信 ① 送信中、一部取消し訂正
適当な回数  あ！！間違えた！
今の箇所
取り消すよ～♪

→
・  ありや
間違えたかな♪

・ 一呼吸置く

※ 送信者が消信①を止めない場合は、消信形象で応答してあげよう。
・ どうやら、一部取り消し訂正のようだ♪

信号文 ②
～ 信号文 送信 ～
誤った箇所の数文字前から繰り返して送信

→
・
～ 信号文 受信 ～

※ 間違えた箇所の数文字前、区切りのよいところから送りなおそう♪

消信 及び 再送 【送信者 全部取消】

送信者 甲 

受信者 乙 



送信者
全部取消

信号文
・
～ 信号文 送信中 ～


→
～ 信号文 受信中 ～

消信 ① 送信中、全部取消し
適当な回数  ごめんね～♪

→
 ありや
間違えたかな♪

終信 ②
受信者の
終信ある
まで  全部取り消し
ま～す♪

←
消信 ③
適当な回数  ガーン！！

・
 交信終了だよ♪

←
終信 ④
送信者が
終信やめる
まで  全部取り消す
んだね～♪


※ 全部取り消しで、通常、交信終了となると思われます。

もし、改めて信号文の送信を行うつもりなら、始信からでもよさそうですが、何らかの事情があって時間が経過するなら、指呼からやり直すのが無難でしょう。

特に、信号文の内容が変更となるような場合は、注意喚起が必要です。


※ 交信相手を間違ったり、送信すべき信号文を取違えるなどは、失礼になります。このようなことが無いよう気を付けよう。

消信 及び 再送 【受信者 一部不明】

送信者 甲 


受信者 乙 

※ 日本船舶信号法では、“受信中”となっている。
 また、受信者の指定箇所からの再送要求に対して
 送信者は、“解信に続いて指定箇所から再送する”とあるだけです。
 本職の方は、受信時にカナで読んでおり、また、何度も繰り返し再送することや
 不明箇所の部分の解読時に解信をすることを法では想定していないと思われる。


受信者 一部不明 
 ※ 受信者は、不明箇所がある場合、
 早めに消信①からの手続きを行うなどして、
 分かりやすい交信を心掛けよう。
 スカウトは親切であるからね♪

信号文
 .
 ~ 信号文 送信中 ~


~ 信号文 受信 中 ~

 ありや不明あったかな♪

消信 ①
 受信 中、一部不明
 適当な回数  あ〜！！今の箇所分からなかった♪


 ○○から・・・

○○カラ ②
 指定箇所
 ○○  カ ラ
 不明箇所の数文字前を指定
 ○○から


 ○○から送rinaおしだね♪

サラ ③
 手続記号 サラ
 サ ラ
 指定箇所から再送を要求
 おさらいして〜♪


解信 ④
 適当な回数  指定箇所了解だよ送rinaおすよ〜♪


 指定箇所からの再送の要求が通じた♪


○○信号文 ⑤
 指定箇所から再送
 指定箇所から信号文を送るよ〜♪

 指定箇所から送ってくれている♪
 解読確認中

終信 ⑥
 終信により送信終了
 やや長くあげる
 信号文の全文送信終了だよ〜♪


 解読確認中

 無事、全文解読できたみたいだ♪

解信 ⑦
 適当な回数  信号文、全文解読できたよ〜♪

☆参考：送信者が信号文の全文を送信して終信形象を行った後、受信者において不明箇所があった場合は、下記の通り行う。
 受信者①〜③を行って再送を要求 → 送信者④解信を行って⑤指定箇所から再送 → 受信者は不明箇所がなくなり、全文を解読できたら⑦解信形象
 受信者は、不明箇所がなくなったら、送信者の送信(再送)中でもよいので、⑦解信形象を行い、全文解読できたことを送信者に知らせる。
 送信者は、受信者の⑦解信を受け、送信(再送)を止め、交信を終了する。 ⑬ - 19 -


消信 及び 再送 【受信者 全部不明】

送信者 甲 


受信者 乙 





信号文
.
～ 信号文 送信中(後)～

受信者 全部不明
.
～ 信号文 受信中(後)～

 ありや不明あったかな♪


消信 ①
受信中(後)、全部不明
適当な回数  あ～！！さっぱり分からない～♪

 ぜ、全部ね…

サラ ②
手続記号 サラ
1  2  5  9 
サ ラ
最初から再送要求
信号文の最初からおさらいして～♪


※ 送信者の消信③がなければ、受信者は“再送要求の手続き”を繰り返す。

消信 ③
適当な回数  分かったよ～♪全部取り消して

 送りなおしてくれるかな…

一呼吸置き

起信 ④
起信により信号文全部の再送開始 始信
適当な回数  最初から送りなおすよ～♪

 最初からの再送の要求が通じた♪

信号文 ⑤
～ 信号文 最初から再送～

～ 信号文 最初から再受信～

※ 送信者が信号文の全てを送信し終わった後、最初から再送を要求するのではなく、不明な場合は早めに再送を要求するようにしよう。

④の起信は、始信の合図だよ。
始信の合図に対しては、応信はいらないよ♪



スカウト間での交信で不明により、受信者から再送を要求する場合
“黒やぎさん 白やぎさん”状態になりがちじゃの…
一部不明の場合は、送信者の解信④
全部不明の場合は、送信者の消信③
があるまで、“再送要求の手続き”を繰り返すしかないの～
※業務(仕事)で交信を行っている人たちは、このような必要はないだろう。



照 校

送信者 甲	
起信	指呼
応信あるまで	お〜い 応答して〜♪
↓ 一呼吸置き 起信(始信)から送信	
起信	始信
起信により送信開始	これから信号文 送信開始だよ〜♪
↓	
ムニ	指定記号 ムニ
①	大事な信号文 あとで照校(確認)するよ♪
↓	
信号文	
②	~ 信号文 送信中 ~
↓	
終信	終信により送信終了
③	信号文の 送信終了だよ〜♪
↓	
“ムニ”受信	照校開始だよ♪
↓	
返送の信号 照校中 誤り確認	あ！誤りあり！！ すぐに“イナ”を送ろう♪
↓	
イナ	手続記号 イナ
⑥	誤りあったよ〜♪
↓	
訂正信号	
⑧	訂正箇所の前 後切りのよい分 かりやすい範囲で送ろう♪
↓	
返送の信号 照校中 誤りがなくなった	信号文の最後まで 誤りがなくなった♪
↓	
ヨシ	手続記号 ヨシ
⑩	信号文のすべて 正しいことが確認 できたよ〜OK♪
↓	
大事な信号文 無事、交信完了♪	

受信者 乙	
応信 そなえよつねにいつでも筆記の準備万端♪	
起信(指呼) やめるまで	は〜い 何だ〜い♪
↓	
これから 受信だよ♪	
↓	
“ムニ”受信	大事な信号文だよ♪ あとで照校だよ♪
↓	
~ 信号文 受信中 ~	
↓	
解読確認 解読できたら 照校だよ♪	
↓	
ムニ	指定記号 ムニ
④	受信した信号文 確認よろしく♪
↓	
信号文	
⑤	~ 受信した信号文 返送中 ~
↓	
イナ	手続記号 イナ
⑦	ありや〜♪
↓	
~ 訂正・受信中 ~ 誤っていた箇所の訂正 正しい信号を受信中	しっかり受信 しなくちゃ♪
↓	
信号文	
⑨	~ 訂正で受信した箇所から信号文 返送継続 ~
↓	
ほっ♪ 誤りがなくなった♪	
↓	
解信	
⑫	信号文の全文 これで正しく受信 できた♪

送信者 甲 

中継者 丙 

受信者 乙 


中継依頼


送信者→中継者



甲 乙 丙 は、
名前だよ♪ここでは省略
して書いてるけど、手旗
で名前を形象してね♪

起信 ① **指呼**

応信あるまで



お〜い♪

応信 ②

指呼やめるまで



なんだ〜♪

中継 ③ **起信形象の代り 始信**

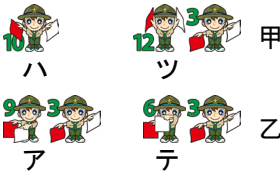
適当な回数



中継だよ〜♪

お、中継だね♪

発宛 ④ **手続記号 ハツ・アテ**



甲 から 乙 さん宛てだよ♪

乙 さん宛ての中継だね♪

⑤ ~ 本文 送信中 ~

~ 本文 受信 中 ~

終信 ⑥

やや長くあげる



これで信号文は終わりだよ〜♪

スカウトシンゴウ

解読確認中

無事解読できたみたいだよ♪


解信 ⑦


適当な回数




信号文を解読できたよ〜♪

中継法 2 【中継遂行 中継その2】 2/3

送信者 甲 

中継者 丙 

受信者 乙 

甲 乙 丙 は、
名前だよ♪ここでは省略
して書いてるけど、手旗
で名前を形象してね♪



中継者→受信者

中継遂行

起信 ① **指呼**

応信あるまで

お〜い♪

応信 ②

指呼やめるまで

なんだ〜♪

中継 ③ **起信形象の代り 始信**

適当な回数

中継だよ〜♪

お、中継だね♪

発宛 ④ **手続記号 ハツ・アテ**

10 甲
ハ ツ

9 乙
ア テ

甲 さんから 乙 さん宛てだよ♪

甲 さんからの中継だね♪

⑤ ~ 本文 送信中 ~

~ 本文 受信 中 ~

終信 ⑥

やや長くあげる

これで信号文は終わりだよ〜♪

スカウトシンゴウ

解読確認中


無事解読できたみたいだ♪

解信 ⑦

適当な回数

信号文を解読できたよ〜♪


中継法 2 【中継報告 中継その3】 3/3

送信者 甲 


中継者 丙 

受信者 乙 


送信者 ← 中継者



中継報告




甲 乙 丙 は、
名前だよ♪ここでは省略
して書いてるけど、手旗
で名前を形象してね♪



お、丙さんからだ♪

起信 ① 指呼

応信あるまで



お〜い♪

応信 ②

指呼やめるまで



なんだ〜♪




甲さんの応答あった♪



乙さんが受信解信したんだね♪

送信 中継完了報告 ③

解信は適当な回数



乙

乙さん受信解信した報告だよ〜♪
※ 解信形象に続いて受信者名を形象

解信 ④

適当な回数




中継の報告を了解♪




無事に中継でき、報告もできた♪

中継のお礼 ⑤



イ ヤ サ カ

弥栄(イヤサカ)♪



お役にたててよかった♪

※ スカウトは礼儀正しいのであるから、④の解信の後、⑤で弥栄 と感謝の気持ちを表したよ♪
※ ④の解信の後、⑤でアリガトウ などでもいいよ♪

長文の送信【句点】


送信者 甲 


受信者 乙 

※ 句点形象の用い方について、日本船舶信号法の記号形象表に“各符号、語句等の間に用い、その区切を表わす。”とある。これとは別に交信法のなかに記載があり、長文の区切りとして句点形象を用いる場合は、受信者からの解信があるまでは、原姿に復さない(戻らない)となっている。


信号文
.
～ 信号文 送信中 ～


→
.
～ 信号文 受信中 ～

↓
.
 信号文長いから切りのよいところで区切ろう♪

→
.
 信号文、長いな...

句点 ① **長文の区切り**
受信者の解信あるまで  形象やめないのは特別な区切りだよ 解読応答してね♪

→
.
 句点をやめない... 長文の区切りだ 解読して要応答だ! 解読確認中

↓
.
 区切りまで無事解読できたみたいだ♪

← **解信 ②**
送信者が句点やめるまで  信号の区切りまで解読できたよ～♪

↓
.
一呼吸置き


←
.
一呼吸置き

信号文 ③
～ 信号文 続きを送信 ～

→
.
～ 信号文 続きを受信 ～

終信 ④ **終信により送信終了**
やや長くあげる  全信号文の送信終了だよ～♪


→
.
 解読確認中

↓
.
 無事解読できたみたいだ♪

← **解信 ⑤**
適当な回数  全信号文を解読できたよ～♪

※ 信号文を数句に分けるその回数は、特に決まりがあるわけではない。区切りやすく、送信・受信しやすい回数でよい。

句点形象の用法について

 14	普通に形象した場合	3倍長くあげた場合	...
	文字形象	記号形象	
	半濁点	句点	

応答あるまであげた場合
交信区別的な用法
解読と応答を要求する区切り

※ 長文ではない短い語句の区切りなどの場合(解読・応答を必要としない場合)は、3倍長くあげたら原姿に戻る。

※ その他、記号形象としての句点形象は、送信者が信号を一時中止する際にも用いる。

例: キウイ 句点形象 ミカン 句点形象 クリ




例: 句点形象 マテ “中止及び再開”参照


二以上の信号文の送信【新章】

送信者 甲 

受信者 乙 


※ 新章形象の用い方について、現在の日本船舶信号法には、記号形象表に“二つ以上の信号文を送信する場合 信号文の間に用い、その区切を表わす。”と記載があるだけです。“句点による長文の区切り”のような交信法の記載がありません。以下は、以前に行われていた交信法の例です。

信号文1 .	~ 信号文1 送信中 ~
↓	
	最初の信号文 終わったぞ♪
↓	
新章 ①	次の信号文との区切り
受信者の 新章ある まで	形象やめないのは 特別な区切りだよ 解読応答してね♪
↓	
	最初の信号文 無事解読できた みたいだ♪
↓	
.	一呼吸置き
↓	
信号文2 ③	~ 信号文2 送信 ~
↓	
終信 ④	終信により送信終了
やや長く あげる	全信号文の 送信終了だよ~♪
↓	
	無事解読できた みたいだ♪

.	~ 信号文1 受信 ~
↓	
	終りかな...
↓	
.	新章をやめない... 最初の信号文 解読して要応答だ! 解読確認中
↓	
新章 ②	送信者が 新章やめる まで
←	最初の信号文 解読できたよ~♪ 次の信号文どうぞ♪
↓	
.	※ 受信者は、信号文を解読した場合、解信形象の代りに新章形象をする。
↓	
.	~ 信号文2 受信 ~
↓	
	解読確認中
↓	
解信 ⑤	適当な回数
←	全信号文を解読 できたよ~♪

※ 送信する信号文のその数は、特に決まりがあるわけではない。信号文の数に応じて新章形象で区切れればよい。

新章形象の用法について

第7原画	普通に形象した場合 文字形象	やや長くあげた場合 記号形象	
	レ	新章	...

応答あるまであげた場合 交信区別的な用法
解読と応答を 要求する区切り

応答あるまで、
『腕を上げ続けるのが大変』じゃと！
送信者も受信者もスカウトとして、
どうあるべきか、よく考えるのじゃ！
待つこと マテもらうこと
互いに相手のことを考えれば、知恵と根性
が湧いてくるじゃろう♪

※ 各信号文が短く、誤認誤解の生じるおそれがない場合（解読・応答を必要としない場合）等は、やや長くあげたら原姿に戻って、次の信号文を続けてもよさそうですが…。他に通達や慣習などによる交信法についての決まりごとがあるのかもしれない。要研究です。



中止 及び 再開 【送信者 中止・再開】

送信者 甲 


受信者 乙 

送信者
一時中止


信号文
・
～ 信号文 送信中 ～


→
・
～ 信号文 受信中 ～

句点
① 一時中止
3倍長く
あげる  ごめんね～♪

→
・  ん！！
なんだろう♪

マテ
② 手続記号 マテ
適当な回数   ちょっと
待っててね～♪

→
・  “マテ”だから
一時中止だ♪

・  一時中止を
了解してくれた♪

←
解信
③ 適当な回数
(送信者がマテ
やめるまで)  一時中止
了解です♪

・ 送信一時中止

・ 再開の指呼まで注視して待機

送信者
再開

・ 送信一時中止中

・ 再開の指呼まで注視して待機中

起信
① 再開 指呼
応信ある
まで  お～い再開だよ～
応答して～♪

→
←
応信
② 起信
(指呼)
やめるまで  は～い
再開だね～♪

・ 一呼吸置き


・

信号文
③
～ 信号文 送信再開 ～
中止した箇所の数文字前から送信再開


→
・
～ 信号文 受信再開 ～


※ 中止した箇所の数文字前、区切りのよいところから再開して送ろう♪

中止 及び 再開 【受信者 中止・再開】

送信者 甲 

信号文
・
～ 信号文 送信中 ～

・
 ん！！
なんだろう♪

・
 “マテ”だから
中止要求だ♪

・ 送信一時中止


・ 再開要求まで注視して待機

受信者 乙 


受信者
中止要求


→
・
～ 信号文 受信中 ～

←
消信 ① 中止要求
 適切な回数 ごめんね～♪

←
マテ ② 手続記号 マテ
適切な回数  ちょっと
待って～♪

・ 受信中止

・ 再開要求まで注視して待機中

・
 お！！
再開だね♪

・ 一呼吸置き

信号文
②
～ 信号文 送信再開 ～
中止した箇所の数文字前から送信再開

※ 中止した箇所の数文字前、区切りのよいところから再開して送ろう♪


受信者
再開要求

・ 受信中止中

←
応信 ① 再開要求
 適切な回数 お～い
再開して～♪

※ 送信再開の様子があるまで
・

→
・
～ 信号文 受信再開 ～

< ある暑い夏の日 >



それ〜♪

ハンテウワ …
ハンテウワ …

うわ!!わ、わわ…
冷たいよ〜♪



な〜んだ 大丈夫そうね。
ボーイのお兄ちゃんが踊りながら
訳の分からないこと言ってるっていうから
水ぶっかけてって言ったのよ♪
ところで、どうしたの？



古い資料に『信号カナづかい』という
のが書いてあって、それによると…
手旗やモールスの通信では、
「班長は」は、「ハンテウワ」と送信する
らしいんだ。



なかなか熱心な 感心感心
必ずしも 信号カナづかいじゃなくてもよい。
誤受のないようにすることが肝心だ…
ワッハッハッハ



なあ〜んだ。スカウト同士の通信は、
学校で習っている「カナづかい」でいいんだ。
ありがとうございます。
…って、今のおじさんの声は？
誰？？どこから…？？？



交信区別形象

起信 	応信
中継 	消信
終信 	解信
発動 	略語

記号形象

数字 	読点
掃除線 	括弧
句点 	小括弧
新章 	問符

その他

指定記号	指定の種類	意味
ウ ナ	至急	急いで伝達
ム ニ	照校	返送し確認

手続記号	用途	用例 抜粋
サ ラ	再送要求	〇〇カラ サラ
ハ ツ	発信者 前置	ハツ 発信者名
ア テ	着信者 前置	アテ 着信者名
カ ケ	筆記	筆記
ヨ シ	肯定	筆記・照校
イ ナ	否定	照校
マ テ	一時中止	句(消) マテ
ツ コ	通信困難	ツコ マテ
タ ナ	発信番号 前置	タナ 発信番号

数	1	2	3	4	5
傍	ヒ	フ	ミ	ヨ	イ
形	①→⑦	⑨	⑥→①	⑧→⑥	③→②

数	6	7	8	9	0
傍	ム	ナ	ヤ	コ	レ
形	⑦→⑤	①→③	⑧→④	⑧→①	⑦

文字形象(ABC順) 早見表

A行			
A	イ	3	- 2
B	ハ	10	
C	ニ	6	
D	ホ	1	- 2 - 10
E	へ	4	
F	チ	7	- ②
G	リ	12	


H行			
H	又	9	- 4
I	濁点	13	
J	ヲ	1	- 9
K	ワ	2	- 9
L	カ	8	- 3
M	ヨ	8	- 6
N	タ	11	- 5

O行			
O	レ	7	
P	ツ	12	- 3
Q(子)	ネ	9	- 2 - 1
R	ナ	1	- 3
S	ラ	5	- 9
T	ム	7	- 5
U	ウ	6	- 9

V行			
V	ク	11	
W	ヤ	8	- 4
X	マ	9	- 5
Y	ケ	7	- 3
Z	フ	9	-

小括弧「」
和文中に欧文を含む場合にその前後に附する。

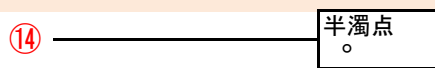
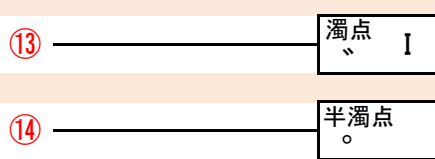
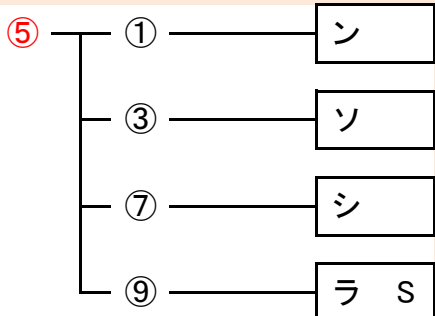
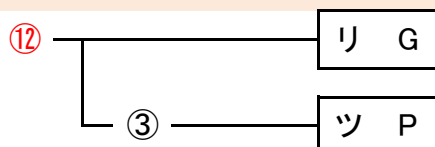
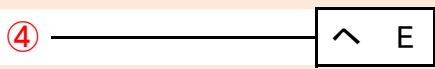
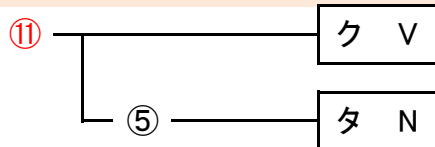
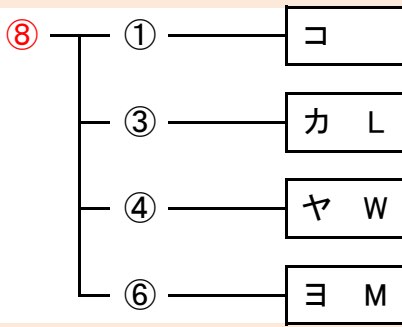
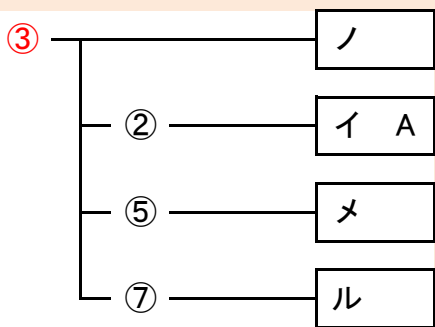
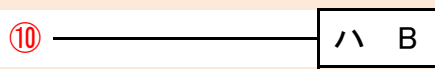
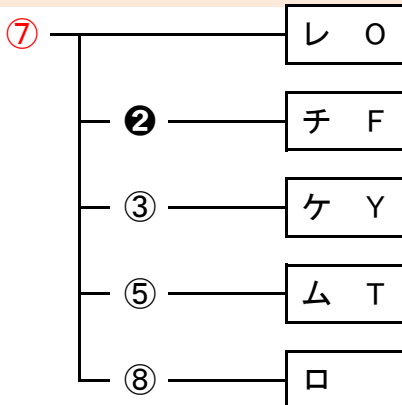
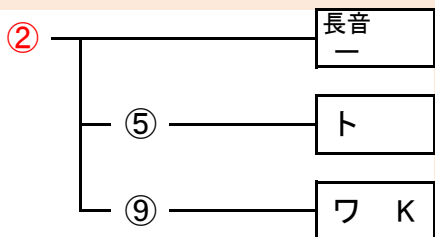
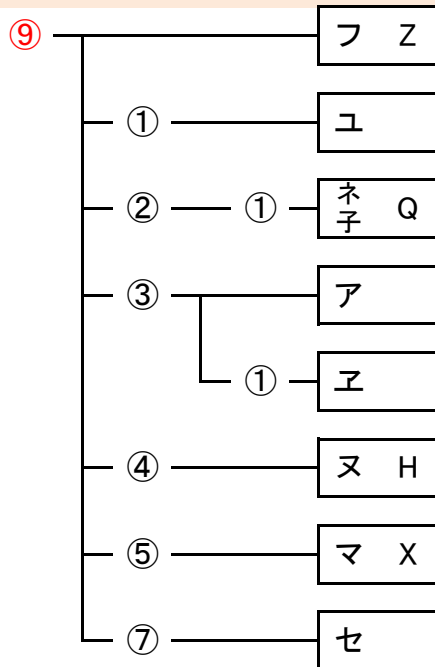
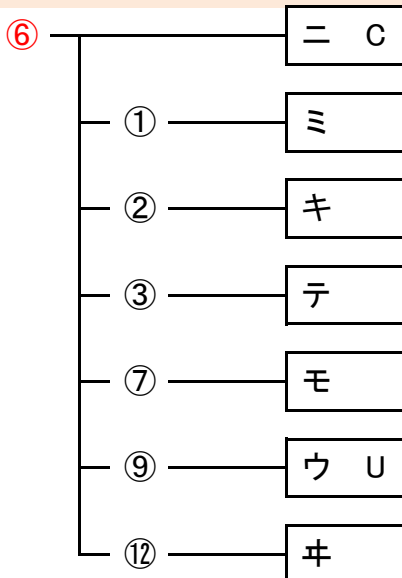
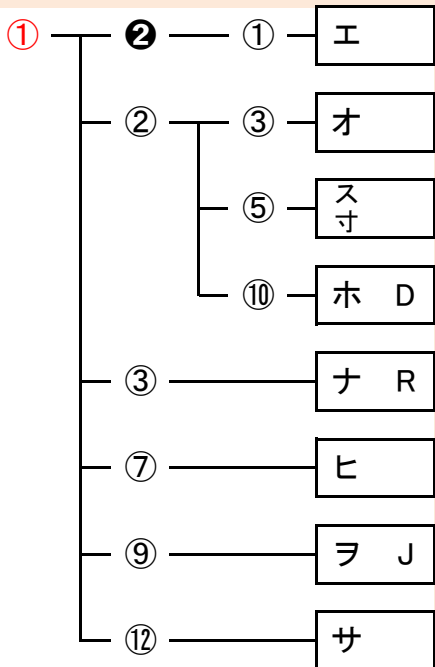
手旗は、日本独自の旗による信号法だ。
手旗のアルファベットは日本独自だから、
外国の人との交信には使わないぞなワシ♪




アルファベットの順番は、だいたいイロハ順なのよね・・・
ソロ オノキルト `I ... が、問題なのよ♪

注： ② ... 逆(白)2原画

文字形象(原画順) 早見表



早見表で調べればいさ♪
でも覚えてしまうと もっと
楽しいだろうなあ～ ウキウキ♪



上段: 数字		中段: 数字傍訓		下段: 数字傍訓の文字形象					
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
ヒ	フ	ミ	ヨ	イ	ム	ナ	ヤ	コ	レ
①→⑦	⑨	⑥→①	⑧→⑥	③→②	⑦→⑤	①→③	⑧→④	⑧→①	⑦

英字素	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
ア行	ハ行	ナ行	ハ行	ハ行	タ行	ラ行	ナ行	濁点	ワ行	ワ行	カ行	ヤ行	タ行	
イ	ハ	ニ	ホ	へ	チ	リ	ヌ	ゝ	ヲ	ワ	カ	ヨ	タ	

英字素	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
ラ行	タ行	ナ行	ナ行	ラ行	マ行	ア行	カ行	ヤ行	マ行	カ行	ハ行	
レ	ツ	ネ	ナ	ラ	ム	ウ	ク	ヤ	マ	ケ	フ	

か	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
1動	⑨	③	⑥	①	①	⑧	⑥	⑪	⑦	⑧	①	⑤	①	⑨	⑤	⑪	⑦	⑫	⑥	②
か	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	へ	ホ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	イ	ユ	エ	ヨ
1動	①	⑥	⑨	⑨	③	⑩	①	⑨	④	①	⑨	⑥	⑦	③	⑥	⑧		⑨		⑧
か	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヰ	ウ	エ	ヲ	ン									
1動	⑤	⑫	③	⑦	⑦	②	⑥		⑨	①	⑤									

注: ② ... 逆(白)2原画

文字形象(50音順) 早見表

ア行		
ア	9	- 3
イ A	3	- 2
ウ U	6	- 9
エ	1	- ② - 1
オ	1	- 2 - 3

カ行		
カ L	8	- 3
キ	6	- 2
ク V	11	
ケ Y	7	- 3
コ	8	- 1

サ行		
サ	1	- 12
シ	5	- 7
ス (寸)	1	- 2 - 5
セ	9	- 7
ソ	5	- 3

タ行		
タ N	11	- 5
チ F	7	- ②
ツ P	12	- 3
テ	6	- 3
ト	2	- 5

ナ行		
ナ R	1	- 3
ニ C	6	
ヌ H	9	- 4
ネ(子)Q	9	- 2 - 1
ノ	3	

ハ行		
ハ B	10	
ヒ	1	- 7
フ Z	9	
ヘ E	4	
ホ D	1	- 2 - 10

マ行		
マ X	9	- 5
ミ	6	- 1
ム T	7	- 5
メ	3	- 5
モ	6	- 7

ヤ行		
ヤ W	8	- 4
イ A		
ユ	9	- 1
エ		
ヨ M	8	- 6


ラ行		
ラ S	5	- 9
リ G	12	
ル	3	- 7
レ O	7	
ロ	7	- 8

ワ行		
ワ K	2	- 9
ヰ	6	- 12
ウ U		
ヱ	9	- 3 - 1
ヲ J	1	- 9

ン	5	- 1
濁点 I	13	
半濁点	14	
長音	2	

色は匂へど イロハニホヘト	散りぬるを チリヌルヲ
我が世誰そ ワカヨタレソ	常ならむ ツネナラム
有為の奥山 ウキノオクヤマ	今日越えて ケフコエテ
浅き夢見じ アサキユメミシ	酔ひもせず エヒモセスン

濁点 は、白濁(はくたく)13原画
半濁点 は、赤飯(せきはん)14原画
と、覚えるといいよ♪



英字索	A	B	C	D	E	F	G
	ア行	ハ行	ナ行	ハ行	ハ行	タ行	ラ行
	イ	ハ	ニ	ホ	ヘ	チ	リ

英字索	H	I	J	K	L	M	N
	ナ行	濁点	ワ行	ワ行	カ行	ヤ行	タ行
	ヌ	ン	ヲ	ワ	カ	ヨ	タ

数	1	2	3	4	5
傍	ヒ	フ	ミ	ヨ	イ
形	①→⑦	⑨	⑥→①	⑧→⑥	③→②

英字索	O	P	Q	R	S	T	U
	ラ行	タ行	ナ行	ナ行	ラ行	マ行	ア行
	レ	ツ	ネ	ナ	ラ	ム	ウ

英字索	V	W	X	Y	Z
	カ行	ヤ行	マ行	カ行	ハ行
	ク	ヤ	マ	ケ	フ

数	6	7	8	9	0
傍	ム	ナ	ヤ	コ	レ
形	⑦→⑤	①→③	⑧→④	⑧→①	⑦



あ！風だ!!

班長！吹いたわね!!



ベンチャーの先輩
帰ってきたに違いない!!

きっと そうよ 敬礼の準備よ♪

こんにちは♪

よ♪ひさしぶり



実は、面白いこと思いついたんだ♪



<ひそひそ>
よく分からないまま敬礼しただけど…誰？

お！君は新入隊員か？



<ひそひそ>
“班長や次長”の班長だった人よ♪
ベンチャーになってから
休みの日ごとに山にこもってて、
滅多に来ないから…



はい！こんにちは



<ひそひそ>
あ～、班長が前に言ってた…
随分 鍛えてもらったって…



いい返事だな♪…(一一)



ははは…♪
みなまで言わなくて結構です。
ところで、面白いことって…

そうそう これだ これ♪
指で原画
な♪面白いだろ♪



誰かさんとおんなじ
え ええ…♪
そ、そうですね…

<ひそひそ>
面白いこと考える先輩だね。
やっぱり、間違いなく“班長や次長”の班長だね♪



<ひそひそ>
ふふ 確かにそうね♪



両手でグーは原姿		右手					
		指1本 人差し指	指2本 +中指	指3本 +薬指	指4本 +小指	指5本 +親指	
左手	指1本	人差し指	1原画	2原画	3原画	4原画	5原画
	指2本	+中指	6原画	7原画	8原画	9原画	10原画
	指3本	+薬指	11原画	12原画	13原画	14原画	0原画

原画は、指を順々に増やして表わすんだ♪
左手だけでグーパーを繰り返すのは起信と応信、両手だと終信と解信
左手だけ五指を広げてヒラヒラさせたら一部消信、両手だと全部消信
数字の前後には、左手の親指と人差し指で、やや長くとめるんだ。

イ A 3 2 	チ F 7 逆2 	ワ K 2 9 	ツ P 12 3 	ウ U 6 9
ロ 7 8 	リ G 12 	カ L 8 3 	ネ Q 9 2 1 	キ 6 12
ハ B 10 	又 H 9 4 	ヨ M 8 6 	ナ R 1 3 	ノ 3
ニ C 6 	ル 3 7 	タ N 11 5 	ラ S 5 9 	オ 1 2 3
ホ D 1 2 10 	ヲ J 1 9 	レ O 7 	ム T 7 5 	ク V 11
ヘ E 4 		ソ 5 3 		ヤ W 8 4
ト 2 5 				マ X 9 5



アルファベット、ほぼイロハ順なんだけど...
ソロ オノキルト `1

ケ Y 7 3 	ア 9 3 	エ 9 3 1 	ン 5 1 	濁点 I 13
フ Z 9 	サ 1 12 	ヒ 1 7 		半濁 14
コ 8 1 	キ 6 2 	モ 6 7 		長音 2
エ 1 逆2 1 	ユ 9 1 	セ 9 7 		
テ 6 3 	メ 3 5 	ス 1 2 5 		
	ミ 6 1 			
	シ 5 7 			

昔の手旗信号では、
“ウ”の形象で、
⑤-②-⑨
というのがあったけど、
現在の“ウ”は、
⑥-⑨
だけだよ



受信のときのコツ

- ① 次の文字を予想しない。
予想が外れると混乱してしまうからだよ
- ② 分からないところがあっても、あせらず
こだわらず後の文字を読むことに 集中
だよ

※ 交信法に、不明なところの送りなおしなど
お願いする方法もあるからね。

③ 不明箇所も前後の文字から推測できること
もあるからね

手旗は、日本独自の旗による信号法だ。
手旗のアルファベットは日本独自だから、
外国の人との交信には使わないぞなワシ



イロハ	イロハニホト 色は匂へど	チリヌルヲ 散りぬるを	ワカヨタレソ 我が世誰そ	ツネナラム 常ならむ	ウキノオクヤマ 有為の奥山	ケフコエテ 今日越えて	アサキユメシ 浅き夢見じ	エヒモセス 酔ひもせず	ン ん
-----	-----------------	----------------	-----------------	---------------	------------------	----------------	-----------------	----------------	--------

交信の基本【指呼 - 応信・送信 - 解信】 詳細

送信者 甲 

受信者 乙 

起信 ① **指呼**

応信あるまで



お～い
応答して～♪

→
←

応信 ②

起信 (指呼) やめるまで



は～い
何だ～い♪

赤旗・白旗 交互

カケ ③ **手続記号 カケ**

適当な回数




カ ケ

筆記の準備
をしてね～♪

→
←

ヨシ ④ **手続記号 ヨシ**

筆記の準備
できたよ～♪



ヨ シ

・ 一呼吸置き 起信(始信)から送信

・

起信 ⑤ **起信により送信開始 始信**

適当な回数



お、準備OKだ!
これから信号文
送信開始だよ～♪


→

これから
受信だよ♪



発動 ⑥


第14原画を
やや長めに
用意、さっ
とおろし発動



用意 はじめ

→

発動のあと
信号開始だよ♪



信号文 ⑦

～ 信号文 送信中 ～

指定記号 発信者名 着信者名 発信番号 本文

→

～ 信号文 受信中 ～

指定記号 発信者名 着信者名 発信番号 本文

終信 ⑧ **終信により送信終了**

やや長く
あげる



信号文の
送信終了だよ～♪

→

解読確認中



無事解読できた
みたいだよ♪



←

解信 ⑨

適当な回数



信号文を解読
できたよ～♪

※ 交信相手を間違ったり、送信すべき信号文を取違えるなどは、失礼になります。このようなことが無いよう気を付けよう。
大事な相手や信号文の送信等の場合は、発信者名・着信者名、指呼する相手(受信者)等をよく確認すること



“一呼吸” これは、慌てないで落ち着いて交信しようという意味合いです。
要所要所で心身を整えよう♪ 記載している箇所以外でも、同じだよ♪

交信の要素【指呼・信号文・送信】 詳細

第16条1・2	指呼と応信の仕方	指呼		応信	
交信相手を明確にする必要がない場合	起信形象	連送	応信形象	連送	← スカウトがゲーム等で行う場合、通常、こちら
交信相手を明確にする必要がある場合	起信形象 受信者名	連送	送信者名 応信形象	連送	← モールスの指呼は、受信者名 のみ
重要文等で筆記を要するとき	カケ	連送	ヨシ		

第2条	信号文の要素				
信号文の順序	指定記号	発信者名	着信者名	発信番号	本文
	ウナ ムニ	ハツ 甲	アテ 乙	タナ Δ12Δ	
	必要のないものは、省略することができる				

※ 発信番号の数字は、数字形象で包むなどして送信する。

※ 送信者・受信者は、交信を行う者。発信者・着信者は、信号文の差出人・受取人。
 ※ スカウトがゲーム等で行う場合、通常、送信者＝発信者、受信者＝着信者となる。
 ※ スカウトがゲーム等で行う場合、通常、本文のみとなる。
 ※ 中継の場合などは、発信者・着信者を省略してはならない。
 ※ 保護者から団委員長宛ての手紙をスカウトが預かり、隊長を通じて 団委員長へ

例	送信者 (スカウト)	ハツ 保護者 アテ 団委員長 手紙	受信者 (隊長)
---	------------	-------------------	----------

第16条3	送信の基本要素					終信
	起信 発動 (始信)	信号文				
		指定記号	発信者名	着信者名	発信番号	
ウナ ムニ	ハツ 甲	アテ 乙	タナ Δ12Δ			
必要のないものは、省略することができる						

※ 発信番号の数字は、数字形象で包むなどして送信する。

指呼の起信

簡略	送信者			受信者				
交信の基本	1	指呼:	起信形象	受信者の応信があるまで連送	2	応信:	応信形象	送信者が指呼をやめるまで連送
	3	筆記:	カケ	筆記が必要な場合、適当な回数	4	筆記:	ヨシ	筆記の準備ができたなら“ヨシ”と応答
	一呼吸置く							
	5	送信:	起信形象 発動形象	(始信) 適当な回数 送信の開始を明確にするため				
			信号文	指定記号 発信者名 着信者名 発信番号 本文	6	解信:	解信形象	信号文が解読できたら形象
		終信形象	やや長くあげる					

※ スカウトがゲーム等で行う場合の交信は、通常、上記の省略をして、簡略した内容で行う。その結果、信号文の内容は、本文のみとなる。



送信合図の起信の前に、一呼吸置くのがよい♪
 “適当な回数”は、1回でよい場合もあるし、数回必要な場合もある。
 互いの技量に応じて行うのじゃ。

始信の起信

第3条	指定記号	指定の種類	用途
	ウナ	至急	伝達に急を要する信号であることを表わす場合 に用いる。
	ムニ	照校	照校を要する信号であることを表わす場合 に用いる。

第6条	手続記号	用途	
	サラ	信号を再送させる場合 に用いる。	消信形象 サラ 消信形象 ○○カラサラ
	ハツ	発信者名の前 に附する。	ハツ 発信者名
	アテ	着信者名の前 に附する。	アテ 着信者名
	カケ	筆記させる場合 に用いる。	
	ヨシ	肯定を表わす場合 に用いる。	
	イナ	否定を表わす場合 に用いる。	
	マテ	信号を一時中止する場合 又は 一時中止させる場合 に用いる。	句点形象 マテ 消信形象 マテ
	ツコ	通信困難であることを表わす場合 に用いる。	ツコ マテ ○○ノタメ ツコ
タナ	発信番号を表わす数字の前 に附する。	タナ 発信番号	

◎表中の“適当な回数”は1回でよい場合もあれば、数回必要な場合もある。回数の記載のない箇所でも、意図が伝わっていないなら、意図が伝わるよう繰り返す。

指呼 - 応信・送信 - 解信

第16条1～5		送信者		受信者				
交信の基本	1	指呼:	起信形象	受信者の応信があるまで形象	2	応信:	応信形象	送信者が指呼をやめるまで形象
	3	筆記:	カケ	筆記の必要な場合、適当な回数	4	筆記:	ヨシ	筆記の準備ができたなら“ヨシ”と応答
	一呼吸置く							
	5	送信:	起信形象	(始信) 適当な回数				
			発動形象	指定記号 発信者名 着信者名 発信番号 本文 ウナ ハツ 甲 アテ 乙 タナ12 本文				
		信号文	終信形象	全文を送信したら形象。やや長くあげる	6	解信:	解信形象	全文を解読できたら形象

※ 3と4の筆記は、長文や重要文等の筆記をさせる必要がある場合の手続き。スカウトは、いつもそなえができていよう。筆記の必要がない場合は省略できる。

※ 5の発動形象は、送信の開始を明確にするために用いる。必要がなければ省略できる。 ※ 発信番号の数字は、数字形象で包むなどして送信する。

※ 5の信号文のうち、指定記号・発信者名・着信者名・発信番号については、必要ないものは省略できる。スカウトのゲーム等での交信の場合、通常は本文のみとなる。

簡略		送信者		受信者				
交信の基本	1	指呼:	起信形象	受信者の応信があるまで形象	2	応信:	応信形象	送信者が指呼をやめるまで形象
	一呼吸置く							
	3	送信:	起信形象	(始信) 適当な回数				
			信号文	本文				
		終信形象	全文を送信したら形象。やや長くあげる	4	解信:	解信形象	全文を解読できたら形象	

消信及び再送



第16条8-イ		送信者		受信者		
消信 一部取消	・	送信:	信号文	送信中		
	1	消信:	消信形象	誤字、脱字等を生じたとき		
	2	送信:	信号文	誤った箇所の数文字前から繰り返して送信		

第16条8-ロ		送信者		受信者		
消信 全部取消	・	送信:	信号文	送信中		
	1	消信:	消信形象 終信形象	信号全部を取り消そうとするとき 受信者の終信形象あるまで終信を形象		
	2	応答:	消信形象 終信形象	全部取消の信号に対して 同一形象で応答		

※ 信号の全部取り消しについて、通常、全部取り消した後は、交信をそのまま終了と思われる。改めて送信する場合は、指呼の起信または始信の起信からと思われる。

注: 日本船舶信号法のモールスの起信と終信の符号は、同じ符号なので、最初から再送のつもりで、“消信→起信”とすると、全部取消の“消信→終信”と誤認させてしまう。

第16条8-ハ		送信者		受信者		
再送 全部不明	・	送信:	信号文	送信中又は送信後	受信中又は受信後	
	1	要求:	消信形象 サラ	信号全部 最初から再送を要求するとき		
	2	消信:	消信形象	最初から再送の要求に対して 消信		
受信者から 全部不明の 再送を要求	3	再送:	起信形象 信号文	(始信) 適当な回数 信号文の全部を最初から再送		

第16条8-ニ		送信者		受信者			
受信途中の 再送 一部不明	・	送信:	信号文	送信途中	受信途中		
	1	要求:	消信形象 〇〇カラ サラ	受信途中 不明の箇所が生じた。 不明箇所の数文字前を“〇〇カラ”と指定 指定箇所からの再送を要求			
	2	解信:	解信形象	再送の要求の信号が解読できたら形象			
	3	再送:	〇〇信号文 終信形象	指定箇所から送信(再送) 全文を送信したら形象。やや長くあげる	4	解信:	解信形象

全文受信後の 再送 一部不明		送信者		受信者			
受信者から 一部不明の 再送を要求	・	送信:	信号文 終信形象	全文送信 全文を送信したら形象。やや長くあげる	全文受信		
	1	要求:	消信形象 〇〇カラ サラ	全文受信後 不明の箇所があった。 不明箇所の数文字前を“〇〇カラ”と指定 指定箇所からの再送を要求			
	2	解信:	解信形象	再送の要求の信号が解読できたら形象			
	3	再送:	〇〇信号文	指定箇所から送信(再送)	4	解信:	解信形象

送信者はすでに全文を送信し、終信形象を行っているため、解信形象を受け、交信終了

※ 他に不明箇所等がある場合は、1の再送要求の手続きを行う。

照 校

第16条9	送信者			受信者			
照校	指呼:	起信形象	受信者の応信があるまで形象	応信:	応信形象	送信者が指呼をやめるまで形象	
	筆記:	カケ	筆記の必要な場合、適当な回数	筆記:	ヨシ	筆記の準備ができたなら“ヨシ”と応答	
	一呼吸置く						
	送信:	起信形象	(始信) 適当な回数				
		信号文	ムニ	照校を要する信号を送るとき形象	・ 照校を要する信号(指定記号“ムニ”のある信号文)を受信したとき		
		終信形象	やや長くあげる				
	2 照校:	返送の信号を受信中			解読出来たら、照校の手続き		
			返送の信号文を照校中、誤りを認めたとき	←	1 送信:	ムニ	解信形象を送らず“ムニ”と送信
		イナ	適当な回数送信し、受信者からの応答の後	→	信号文		受信した信号文を返送
		信号文	受信者の誤った箇所を正しい信号で再送		イナ		“イナ”と応答
		返送の信号を受信中	←	訂正された正しい信号を受信			
イナ		適当な回数送信し、受信者からの応答の後	→	信号文		誤った箇所を訂正し、訂正箇所から返送を継続	
信号文	受信者の誤った箇所を正しい信号で再送		イナ		“イナ”と応答		
	返送の信号を受信中	←	訂正された正しい信号を受信				
ヨシ	受信者の正しい返送が終わったので“ヨシ”と送信	3	3 解信:	解信形象	解信形象を送って照校を終わる		



電話連絡の際、
復唱して確認するのと同じね♪

数字の送信

第16条11	数字の送信	零原画から第九原画までの中、当該数字に相当する番号の原画形象をもって表わす							
		整数	小数	読点	分数	帰除線	帯分数	読点	帰除線
(1)	数字原画	△100△ エン	△3.5△		△1/2△		△3.1/2△		
(2)	数字傍訓あり	△100(ヒレレ) エン	△3.5(ミ.イ)		△1/2(ヒ/フ)		△3.1/2(ミ.ヒ/フ)		
(3)	発音通り	ヒヤクエン	サン テンゴ		ニブンノイチ		サントニブンノイチ		
その他	時刻は24時間の4桁で表す。			日付等の“日”は、“ヒ”と表す。例: 曜日 ヨウヒ、2月21日 △2△ガツ△21△ヒ					

※ 例: 午後3時5分なら、△1505△ジ 午前8時20分なら、△0820△ジ ※ 単位などを付け忘れると、何の数字が分からないよ♪

数字傍訓

第7条	数字	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
	数字傍訓 (文字形象)	ヒ ①→⑦	フ ⑨	ミ ⑥→①	ヨ ⑧→⑥	イ ③→②	ム ⑦→⑤	ナ ①→③	ヤ ⑧→④	コ ⑧→①	レ ⑦

※ 数字傍訓は、各数字に対応した文字形象で、一組の数字の後、括弧()で包んで用いる。 例: 100円 △100(ヒレレ)エン

参考	数字の読み方	ヒト	フタ	サン	ヨン	ゴ	ロク	ナナ	ハチ ヤア	キュウ ココノツ	マル ゼロ
	※ 風などで聞き取りづらいときの数字の読み上げ方の例										
	※ “2”を“ニ”と読むこともあるようです。										

記号の筆記

第15条3	記号形象	数字	読点	帰除線	括弧	句点	小括弧	新章	問符	※問符形象は、現在、日本船舶信号法では使用されていない。
	筆記に使用	△	。	/	()	,	「 」	『 』	?	

欧文の送信

第16条10	欧文の送信	信号文中に固有名詞、信号符字等アルファベットを含む場合 「固有名詞」「信号符字」小括弧で包む			
	小括弧で包む	「イ」△4△サイズ	「イ△4△」サイズ	「イ」△4(ヨ)サイズ	「イ△4(ヨ)」サイズ
	発音通り	エー ヨン サイズ			
	句点で区切る	欧文の単語と単語の間を区切る例: It is a piece of cake 「ム、ラ、イ、ツ」ヘニヘ、レチ、ニイワヘ」			

※ 欧文の送信に際して、受信者が誤解しないよう、判別し易いようにする。信号文を作成するとき、誤解されないかよく確認する。



中継法

・送信者・受信者は、交信を行う者。
 ・発信者・着信者は、信号文の差出人・受取人。

・ここでは、発信者＝送信者、着信者＝受信者としている。
 ・異なる場合は、ハツ 発信者名 アテ 着信者名 とする。

第17条1	送信者 甲 (発信者)			中継者 丙			受信者 乙 (着信者)				
	1	指呼:	起信形象 乙 連送	→	甲の指呼信号を乙が視認し難い ×			・	不通:	応答なし	
	丙が中継を買って出る										
	中継依頼	丙からの中継の申出を受信			←	2	応答:	中継形象 乙			
		3	送信:	中継形象 (始信)起信の代り							
				信号 ハツ 甲							
				文 アテ 乙							
	終信形象										
		4	解信:	解信形象							
	中継遂行	5	指呼:	起信形象 乙 連送	→	6	応信:	応信形象			
		7	送信:	中継形象 (始信)起信の代り							
				信号 ハツ 甲							
文 アテ 乙											
終信形象											
	8	解信:	解信形象								
中継報告	・			←	9	指呼:	起信形象 甲 連送				
	10	応信:	応信形象	→	・						
	・			←	11	送信:	解信形象 乙				
	12	解信:	解信形象 弥栄 礼儀	→	中継を終わる						

誰から 誰に 宛てた手紙なのか
 …ぬか喜びさせられたりして…
 ちゃんとしないと迷惑なのよね!

※ 中継を買って出る場合の応答 中継法1 2 応答: 中継形象 乙 又は 2 応答: 甲 中継形象 乙



※ スカウトがゲーム等で行う場合の交信なら、下記の中継法2が分かりやすいだろう。

第17条2	送信者 甲 (発信者)			中継者 丙			受信者 乙 (着信者)				
	丙に中継を依頼する										
	中継依頼	1	指呼:	起信形象 丙 連送	→	2	応信:	応信形象			
		3	送信:	中継形象 (始信)起信の代り							
				信号 ハツ 甲							
				文 アテ 乙							
	終信形象										
		4	解信:	解信形象							
	中継遂行	5	指呼:	起信形象 乙 連送	→	6	応信:	応信形象			
		7	送信:	中継形象 (始信)起信の代り							
				信号 ハツ 甲							
				文 アテ 乙							
終信形象											
	8	解信:	解信形象								
中継報告	・			←	9	指呼:	起信形象 甲 連送				
	10	応信:	応信形象	→	・						
	・			←	11	送信:	解信形象 乙				
	12	解信:	解信形象 弥栄 礼儀	→	中継を終わる						

※ 11の“解信形象 乙”は、乙が無事に受信し、解信したことを意味する。発信番号がある場合の一例：“解信形象 タナ Δ12Δ 乙”
 ※ 12の解信の際、スカウトは礼儀正しいのであるから、お礼を送る。“解信形象 イヤサカ” “解信形象 アリガトウ” など
 ※ 中継では、信号文の発信者名・着信者名を省略してはならない。指定記号と発信番号は必要なければ省略できる。
 ※ 発信番号の数字は、数字形象で包むなどして送信する。

信号文の要素			
指定記号	発信者名	着信者名	発信番号
ウナ ムニ	ハツ 甲	アテ 乙	タナ Δ12Δ
必要のないものは、省略することができるが… ☆中継では発信者名・着信者名は省略できない。			



長文の送信【句点】（参考 二以上の信号文の送信）

第16条6	送信者			受信者					
句点	1	指呼:	起信形象	受信者の応信があるまで形象	2	応信:	応信形象	送信者が指呼をやめるまで形象	
	3	筆記:	カケ	筆記の必要な場合、適当な回数	4	筆記:	ヨシ	筆記の準備ができたなら“ヨシ”と応答	
一呼吸置く									
長文の送信 (信号文を数句に分ける)	5	送信:	信号文	起信形象	(始信) 適当な回数				
				句点形象	適当と認めるところまで送信				
				句点形象	受信者の解信があるまで形象し、区切る	→	解信:	解信形象	区切りまで信号文が解読できたら形象
				句点形象	次の句(信号文の続き)を送信				
				句点形象	受信者の解信があるまで形象し、区切る	→	解信:	解信形象	区切りまで信号文が解読できたら形象
				最後の句(信号文の続き)を送信					
				終信形象	やや長くあげる	6	解信:	解信形象	信号文の全てが解読できたら形象

※ 信号文を数句に分けるその回数は、特に決まりがあるわけではない。区切りやすく、送信・受信しやすい回数でよい。

参 考	送信者			受信者					
新章	1	指呼:	起信形象	受信者の応信があるまで形象	2	応信:	応信形象	送信者が指呼をやめるまで形象	
	3	筆記:	カケ	筆記の必要な場合、適当な回数	4	筆記:	ヨシ	筆記の準備ができたなら“ヨシ”と応答	
一呼吸置く									
二以上の 信号文の送信	5	送信:	信号文	起信形象	(始信) 適当な回数				
				信号文1	最初の信号文1を送信				
				新章形象	受信者の新章形象があるまで形象し、区切る	→	解信:	新章形象	信号文1が解読できたら形象
				信号文2	次の信号文2を送信				
				新章形象	受信者の新章形象があるまで形象し、区切る	→	解信:	新章形象	信号文2が解読できたら形象
				最後の信号文3を送信					
				終信形象	やや長くあげる	6	解信:	解信形象	信号文3が解読できたら形象

※ 受信者は、区切りまで解読できたら、解信形象の代わりに新章形象を送る。受信者の新章形象あるまで、送信者は新章形象をする。

※ 送信する信号文のその数は、特に決まりがあるわけではない。信号文の数に応じて新章形象で区切れればよい。

中止 及び 再開

第16条7-イ	送信者			受信者				
中止 送信者から 一時中止	・	送信:	信号文	送信中				
	1	中止:	句点形象 マテ	送信を一時中止しようとするとき 注意喚起が必要な場合、適当な回数	2	解信:	解信形象	一時中止の信号が解読できたら形象
	3	中止:		送信一時中止☆	4	待機:		再開の指呼があるまで注視して待つ

第16条7-ロ	送信者			受信者			
中止 受信者から 一時中止を要求	・	送信:	信号文	送信中			
	1	要求:	消信形象 マテ	送信を一時中止させるとき 注意喚起が必要な場合、適当な回数			
	2	中止:		送信一時中止☆			
3	待機:		再開の要求があるまで注視して待つ				

第16条7-ハ	送信者			受信者				
再開 送信者から 送信再開	・	中止:		送信一時中止中☆	・	待機:		再開の指呼があるまで注視して待っている
	1	指呼:	起信形象	送信を再開しようとするとき応信あるまで形象	2	応信:	応信形象	送信者が起信形象をやめるまで形象
	3	再開:	信号文	中止した数文字前から送信再開				

第16条7-ニ	送信者			受信者				
再開 受信者から 送信再開を要求	・	中止:		送信一時中止中☆				
	・	待機:		再開の要求があるまで注視して待っている	1	要求:	応信形象	送信の再開を要求するとき形象
	2	再開:	信号文	中止した数文字前から送信再開				

※ 取消や中止の後、再送や再開時は、取消や中止した箇所の数文字前、分かりやすい、切りのよいところから、送信すると親切だよ♪



信号カナづかい

参考 (スカウトは一般のカナづかいでよい)

“ヤ・ユ・ヨ”、“ツ”

☆ 小文字の“ヤ”は信号カナづかいによるものは、見受けられない。 小文字の“ツ”も同様。
例： チャック なら チヤツク となる。

☆ 小文字の“ユ”は省略されている。

	信号カナ	一般のカナ		濁音	信号カナ	一般のカナ
1	キウ	キュー キュウ	カ キ ク ケ コ		ギウ	ギュー ギュウ
2	シウ	シュー シュウ	サ シ ス セ ソ		ジウ	ジュー ジュウ
※			サ シ ス セ ソ	濁音	?	チュー チュウ
3	チウ	チュー チュウ	タ チ ツ テ ト		?	チュー チュウ
4	ニウ	ニュー ニュウ	ナ ニ ヌ ネ ノ			
5	?	ヒュー ヒュウ	ハ ヒ フ ヘ ホ	濁音	?	ビュー ビュウ
			ハ ヒ フ ヘ ホ	半濁音		ピウ ピュー ピュウ
6	ミウ	ミュー ミュウ	マ ミ ム メ モ		斜線の“ヒウ”“ジウ”“ビウ”という信号カナづかいは、見受けられない。あるのかないのか不明	
7	リウ	リュー リュウ	ラ リ ル レ ロ			

☆ 小文字の“ヨ”は省略され、各行の4番目の音に置換 例外有

	信号カナ	一般のカナ		濁音	信号カナ	一般のカナ
1	ケウ	キョー キョウ	カ キ ク ケ コ		ゲウ	ギョー ギョウ
2	セウ	ショー ショウ	サ シ ス セ ソ		ゼウ	ジョー ジョウ
※			サ シ ス セ ソ	濁音	?	ゼウ チョー チョウ
3	テウ	チョー チョウ	タ チ ツ テ ト		チ→ジ	チョー チョウ
4	ネウ	ニョー ニョウ	ナ ニ ヌ ネ ノ			
5	ヘウ	ヒョー ヒョウ	ハ ヒ フ ヘ ホ	濁音		ベウ ビョー ビョウ
			ハ ヒ フ ヘ ホ	半濁音		ペウ ピョー ピョウ
6	メウ	ミョー ミョウ	マ ミ ム メ モ			
7	レウ	リョー リョウ	ラ リ ル レ ロ			



班長は学校へ(ハン**チ**ョウハ **ガ**ツコウへ)
これが、信号カナづかいだと ハン**テ**ウ**ワ** **ガ**ツコウ**エ** となるようだ♪

信号カナづかい

参考（スカウトは一般のカナづかいでよい）

“長音” その他

☆ 信号カナづかいで見受けられるもの 長音は **ウ** に置換

信号カナ	一般のカナ	
クウ	クー	クウ

コウ	コー	コウ
----	----	----

スウ	スー	スウ
----	----	----

ソウ	ソー	ソウ
----	----	----

ツウ	ツー	ツウ
----	----	----

トウ	トー	トウ
----	----	----

ノウ	ノー	ノウ
----	----	----

フウ	フー	フウ
----	----	----

ホウ	ホー	ホウ
----	----	----

モウ	モー	モウ
----	----	----

ユウ	ユー	ユウ
----	----	----

ヨウ	ヨー	ヨウ
----	----	----

ロウ	ロー	ロウ
----	----	----

信号カナ	一般のカナ	
グウ	グー	グウ

ゴウ	ゴー	ゴウ
----	----	----

ジ	ヂ	ジ
ジウ	ジー	ジウ
	ヂー	ヂウ

ズ	ヅ	ズ
ズウ	ズー	ズウ
	ヅー	ヅウ

ゾウ	ゾー	ゾウ
----	----	----

ドウ	ドー	ドウ
----	----	----

ボウ	ボー	ボウ
----	----	----

ヂは **ジ** に置換

ヅは **ズ** に置換

ポウ	ポー	ポウ
----	----	----



手旗の文字形象や交信方法などは、いろいろと初期の頃と変わっているものもあるよね♪
最初の頃は、オの文字形象はなかったみたいよ♪

☆ ㇿ・エは通常使用しない。ㇿはイを、ㇿはエを使用。
通常、オはヲを使用する。ただし、外来語や固有名詞等はオを使う。例：オートバイ オカヤマケン
信号カナを無理に用いるより、誤受がないようにする。地名や名称など固有名詞は、一般のカナづかいがよいだろう。

☆ 本来の日本語は長音は使用せず、ウで伸ばす。外来語をカナで表わすとき、長音を使う。例：ボール

☆ 助詞は、発音通り。“は”は“ワ” “へ”は“エ” 例：私は ○○へ ワタシワ ○○エ となる。

信号カナ	一般のカナ	
カ	クワ	例：菓子

信号カナ	一般のカナ	
ガ	グワ	例：外国

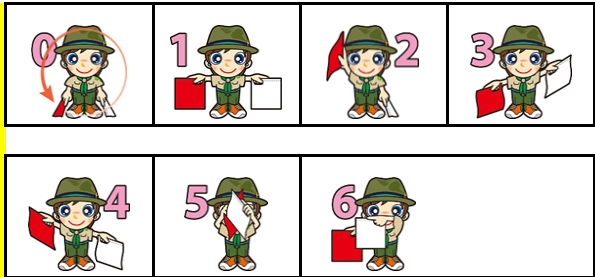
※昔は、菓子をクワシ 外国をグワイコク と読んでいた。現在は、カシ ガイコク なので気にする必要はない。

☆ ○月○日 本日 ○曜日 などの“日”は、“ヒ”となる。 ○ガツ○ヒ ホンヒ ○ヨウヒ

ジョン・ブラン	て～ばたしんごう	手旗信号
ジョン・ブラン	げんかくれんしゅう	原画練習
ジョン・ブラン	き～ごうれんしゅう	記号練習
	げんしはこれだ～	原姿はこれだ～♪



れいげんかく	いちげんかく	に～げんかく	さんげんかく
零原画	一原画	二原画	三原画
し～げんかく	ご～げんかく	ろくげんかく	だ～♪
四原画	五原画	六原画	だ～♪



しちげんかく	はちげんかく	く～げんかく	じゅうげんかく
七原画	八原画	九原画	十原画
じゅういちげんかく	じゅうにげんかく	じゅうさんげんかく	じゅうし♪
十一原画	十二原画	十三原画	十四♪



きしんきごう	おうしんきごう	いちぶか	ぜんぶの	しょうしんきごう
起信記号	応信記号	一部か	全部の	消信記号
とうてんきごう	こんま～きごう	かつこきごう	しょうかつこきごう	♪
読点記号	括弧記号	小括弧記号		♪



ちゅうけいきごう	りゃくごきごう	く～てんきごう	しんしょうきごう
中継記号	略語記号	句点記号	新章記号
もんぶきごう	しゅうしんきごう	かいしんきごう	♪
問符記号	終信記号	解信記号	♪



だくてんきごう	はんだくて～ん	きじょせんきごう	ちょうおんきごう
濁点記号	半濁点	帰除線記号	長音記号
すうじきごう	ぜんごに はさみ	へんじを ま～つ	♪
数字記号	前後に はさみ	返事を 待つ	♪



ジョン・ブラン	て～ばたしんごう	手旗信号
ジョン・ブラン	げんかくじゅうご	原画十五
ジョン・ブラン	き～ごうじゅうはち	記号十八
	ごうけいさんじゅうさ～ん	合計三十三

替え歌よ♪

ジョン・ブラン	ぎやくにげんかく	逆2原画
ジョン・ブラン	はつどうきごう	発動記号
ジョン・ブラン	コンガラガッテ サツバリ ワカラナイ～♪	

※ 原曲や元歌は注意・・・先住民等を表わす言葉は、様々な理由(当初からの意図、時の経過、誤訳など)から差別的意味合いを持つ(持つようになった)ものがある。また、当事者たちの意識の変化もある。世界のスカウトと友情を深めるため、交流する際、十分に気を付ける必要があります。この歌の元歌の題名で使われていた言葉は、“ネイティブ・アメリカン”“ファースト・ネーション”等と表現されるようになってきている。替え歌であっても、曲を不快に思う方もいるかも知れません。

このページ、初見者はスキップ



起信

きしん



きごう



応信

おうしん



きごう



いちぶか

ぜんぶの

消信

しょうしん

きごう



読点(とうてん)

こんま～



きごう



カッコ

かっこ



きごう



小カッコ

しょうかっこ



きごう



日本船舶信号法における
読点の筆記の際の記号は、
昔はコンマ(カンマ)“,”
だったんだ。今は“。”だよ♪



中継

ちゆうけい



きごう



略語

りゃくご



きごう



句点

く～てん



きごう



新章

しんしょう



きごう



問符

もんぷ



きごう



終信

しゅうしん



きごう



解信

かいしん



きごう



濁点

だくてん



きごう



半濁点

はんたく



て～ん



帰除線

きじよせん



きごう



長音

ちようおん



きごう



数字

すうじ



きごう



ぜんごに



はさみ



へんじを ま～つ



順番を覚えておいて、
形象の名称のほんのちょっと前に
動き出さないと間に合わないよ。
起信などは一回振るので
精一杯だよ♪



文字や数字のいろんな送信法

エイチ		エ			イ		チ		
形象		1	2	1		3	2	7	2
原姿		1原画	逆2原画	1原画		3原画	2原画	7原画	逆2原画

見やすくするため
原姿の絵柄と原画の第1字は
省略するね！

スネ		ス(寸)				ネ(子)			
形象		1	2	5		9	2	1	
原姿		1原画	2原画	5原画		9原画	2原画	1原画	

濁点や半濁点、それと 長音は、
それぞれ一文字とするよ！

スカウト同士の交信の場合、送信者が
記号形象などをあげたまま、降ろさない
ことがあるの～。その場合は、受信
者がその記号形象などを認識したかを
送信者が確認したいのじゃろう。その
場合、受信者は、何らかの応答をして
あげよう。

例えば、送信者の数字形象に対して、受
信者も数字形象をあげるなど！

ボーイ		ホ				°(濁点)			ー(長音)			イ	
濁点 形象		1	2	10		13		2		3	2		
原姿		1原画	2原画	10原画		13原画		2原画		3原画	2原画		

ポール		ホ				°(半濁点)			ー(長音)			ル	
半濁点 形象		1	2	10		14		2		3	7		
原姿		1原画	2原画	10原画		14原画		2原画		3原画	7原画		

英単語と英単語の間は、
句点で区切ってね！

句点は、第14原画で形象
するよ！
半濁点の3倍の時間、旗を
あげておきます。
半濁点と区別するためよ！

ホ？ール		ホ				脱字等不明			ー(長音)			ル	
脱字等不明 形象		1	2	10				2		3	7		
原姿		1原画	2原画	10原画		問符		2原画		3原画	7原画		
筆記の際の記号		1	2	10		?		2		3	7		



I d o		欧文開始			I 濁点			3倍長めに 単語区切り			d ホ			o レ			欧文終了	
和文中の欧文 形象				13				1	2	10		7						
原姿		小カッコ		13原画		句点		1原画	2原画	10原画		7原画		原姿		原姿		小カッコ
筆記の際の記号		「		13		,		1	2	10		7		原姿		原姿		」

ヤノハ		略語開始			ヤ			ノ			ハ			略語終了	
略語 形象				8	4		3		10						
原姿		略語		8原画	4原画		3原画		10原画		略語			原姿	

班で、略語を考えてね！

※例： あらかじめ、『山鳩班の班長』を『ヤノハ』と略すこととしていた。

20(フレ)		3倍長めに 数字開始			2			0			数字の 傍訓開始			フ			レ			数字の 傍訓終了	
数字(傍訓) 形象				2		0						9		7							
原姿		数字		2原画		0原画		原姿	カッコ		原姿	9原画		7原画		原姿		原姿	カッコ		原姿
筆記の際の記号		△		2		0			(9		7)		

※上記は、数字傍訓法

数字を正確に送受信するための方法	数字	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
	数字傍訓	ヒ	フ	ミ	ヨ	イ	ム	ナ	ヤ	コ	レ
	(文字形象)	①→⑦	⑨	⑥→①	⑧→⑥	③→②	⑦→⑤	①→③	⑧→④	⑧→①	⑦

106		3倍長めに 数字開始			1			0			6			3倍長めに 数字終了	
形象				1		0		6							
原姿		数字		1原画		0原画		6原画		原姿		数字		原姿	
筆記の際の記号		△		1		0		6				△			

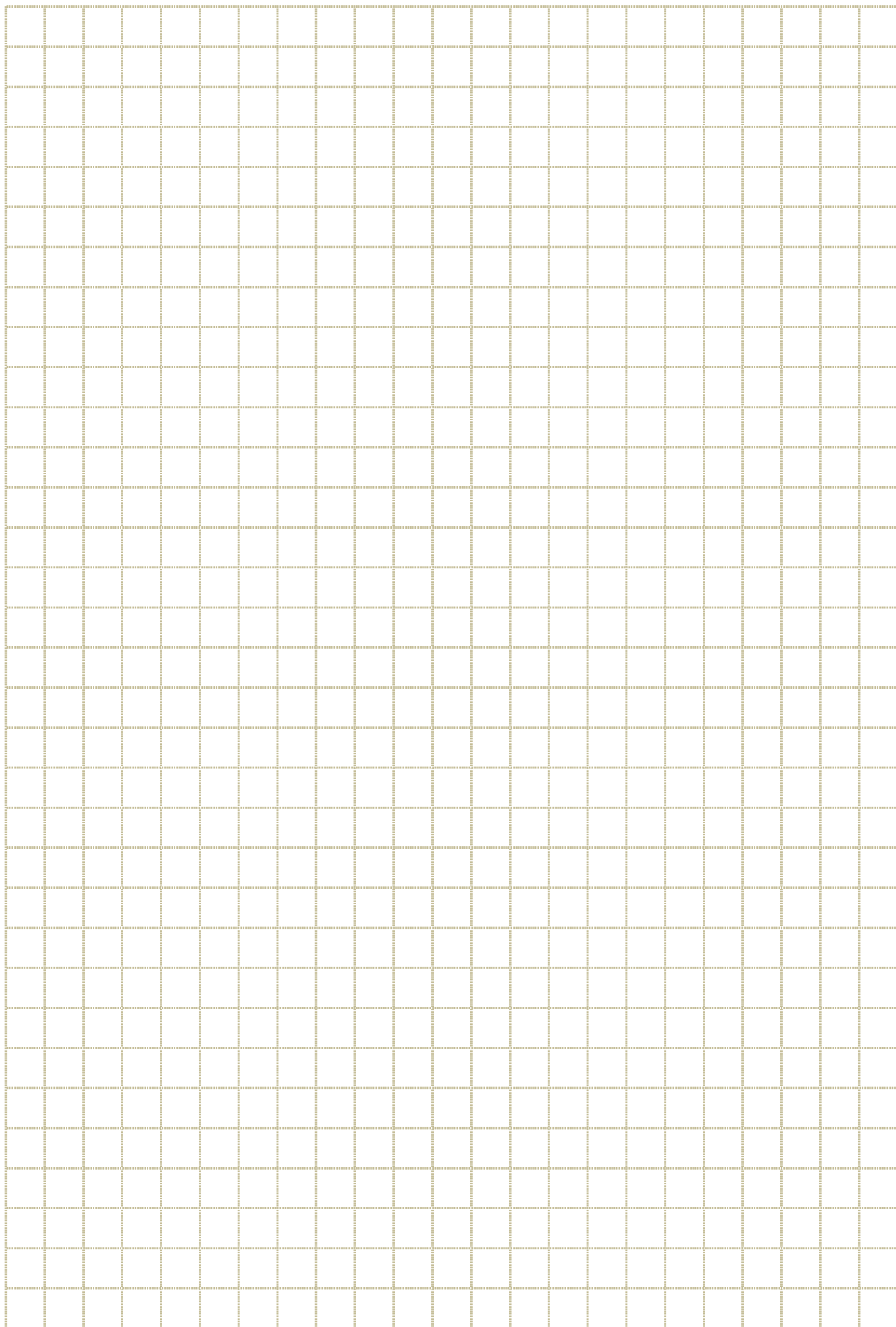
数字の開始だよ～で、第13原画
数字の終了だよ～で、第13原画
この方法が一番簡単ね！
この数字の開始と終了の合図は、
第13原画を濁点形象の3倍の時間、
旗をあげておきます。
濁点と区別するためよ！

1.6		3倍長めに 数字開始			1			点			6			3倍長めに 数字終了	
1点6 形象				1				6							
原姿		数字		1原画		読点		6原画		原姿		数字		原姿	
筆記の際の記号		△		1		。		6				△			

削除線は、第11原画で形象するよ！

3 1/6		3倍長めに 数字開始			3			と			1			/			6			3倍長めに 数字終了	
3と6分の1 形象				3				1													
原姿		数字		3原画		読点		1原画		原姿		削除線		原姿		6原画		原姿	6原画		原姿
筆記の際の記号		△		3		。		1				/				6			△		

※上記は、数字原画法 上記を数字傍訓法 で送信する(筆記の際の記号で書く)と △3.1/6(ミ.ヒ/ム)となるよ。





手旗を打てるようになったら
今度は、読む練習よ♪
仲間と交替でやってみよう♪

よく練習してるね
姿勢よく 自信もって
旗がふれているね
カッコよく、素敵だね♪



送信者は、受信者がちゃんと読めるように

ていねいに
しっかり とめ
ゆっくり
きびきび

相手に伝えることが目的だよ♡

スピードは二の次さ♪



⑥-② ⑥-① ③ ①-③ ②-⑨



ボーイスカウト

連盟

第

団



ページ番号『29』・『33』・『34』は、ありません。
 ページ番号のない加除ページをご利用ください。
 加除ページは右上に表記してあります。
 ページの最下の中央に①や-1-でページ番号
 を付けてます。

A4サイズで横に2ページずつ印刷した場合
 偶数ページが左側、奇数ページが右側になるよう
 加除ページを適当に挿入して調整してください。

目次のP. 1～P. 32がベースです。

●『このページ、初見者はスキップ』を除いたものが、
 P. ①～P. ⑩で簡易版となります。

P. 35～P. 40は参考資料です。
 簡易版には不要です。

※加除ページは、適当に挿入・削除するなどしてご利用ください。

スカウト関係の旧来の資料等(おそらく昭和中期まで)
 現行の日本船舶信号法(国土交通省ホームページ掲載)
 を見比べながら、作成しております。
 そのため、現在の実務上の交信法と違っているかも知れません。
 ご容赦を

☆ 現行のスカウトハンドブック・ベーシック(2020.7.2第2版第2刷)と異なる点があります。
 ご利用にあたっては、県または地区のコミッショナーやトレーナー、プログラム(進歩)委員等にご相談ください。

	ページ番号
1 . 班長さん・次長さん 教えて♪【その1】	P. ① 1 旗の持ち方・旗の左右・仕舞い方
2 . 『旗あげゲーム』	P. ② 2
3 . 班長さん・次長さん 教えて♪【その2】	P. ③ 3 旗の振り方・原画
4 . 原画図	P. ④ 4
5 . 班長さん・次長さん 教えて♪【その3】	P. ⑤ 9 進級課題・技能章細目の抜粋
6 . 『アルプス一万尺』 替え歌	P. ⑥ 10 よく使う交信区別形象・記号形象
7 . 班長さん・次長さん 教えて♪【その4】	P. ⑦ 11 文字形象
8 . 文字や数字の打ち方	P. ⑧ 12 基本的な文字と数字の打ち方
9 . 『通信ハイキング』 おまけ	P. ⑨ 14
10 . 交信の基本【指呼 - 応信・送信 - 解信】	P. ⑩ 16 簡略 起信の意味ふたつ(指呼と始信)
11 . 消信 及び 再送 【送信者 一部取消】	P. ⑪ 17 消信形象 打ち間違いの訂正
12 . 消信 及び 再送 【送信者 全部取消】	P. ⑫ 18 消信形象 終信形象 信号全部の取り消し
13 . 消信 及び 再送 【受信者 一部不明】	P. ⑬ 19 消信形象 ○○ カラ サラ
14 . 消信 及び 再送 【受信者 全部不明】	P. ⑭ 20 消信形象 サラ
15 . 長文の送信 【句点】	P. ⑮ 25 区切り 第14原画 句点形象の用法
16 . 二以上の信号文の送信 【新章】	P. ⑯ 26 区切り 第7原画 新章形象の用法
17 . 文字形象 (原画順) 早見表	P. ⑰ 31
18 . 文字形象 (50音順) 早見表	P. ⑱ 32
ネーム	

BSの手旗は、これでマスターだ♪



参考

第17条2	送信者 甲 (発信者)	中継者 丙	受信者 乙 (着信者)
中継法2	丙に中継を依頼する		
	1 指呼: 起信形象 丙 連送	→ 2 応信: 応信形象	
	3 送信: 中継形象 (始信)起信の代り 信号 ハツ 甲 文 アテ 乙 本文 終信形象		
中継遂行	5 指呼: 起信形象 乙 連送	→ 6 応信: 応信形象	
	7 送信: 中継形象 (始信)起信の代り 信号 ハツ 甲 文 アテ 乙 本文 終信形象		
中継報告	9 指呼: 起信形象 甲 連送	← 10 応信: 応信形象	
	11 送信: 解信形象 乙		
	12 解信: 解信形象 弥栄 礼儀	→	中継を終わる

※ 11の“解信形象 乙”は、乙が無事に受信し、解信したことを意味する。発信番号がある場合の一例：“解信形象 タナ △12△ 乙”
 ※ 12の解信の際、スカウトは礼儀正しいのであるから、お礼を送る。“解信形象 イヤサカ” “解信形象 アリガトウ” など
 ※ 中継では、信号文の発信者名・着信者名を省略してはならない。指定記号と発信番号は必要なければ省略できる。
 ※ 発信番号の数字は、数字形象で包むなどして送信する。



略語開始		ヤ		ノ		ハ		略語終了
略語	原姿	8原画	4原画	原姿	3原画	原姿	10原画	原姿

※例 : あらかじめ、『山鳩班の班長』を『ヤノハ』と略すこととしていた。

疑義(要研究): 日本船舶信号法において、下記の通り、受信者による一部再送の要求については、これだけである。発光信号のモールスも同様である。

ニ 受信船所は、受信 中 不明の個所を生じたときは、直ちに消信形象に続いて“何々(指定個所を示す。)カラサラ”と送信して指定個所からの再送を要求する。この場合 送信船所は、解信形象に続いて指定個所から再送する。

1. 受信 中のみで、受信後については記載がない。
2. 送信者による再送は、指定箇所からで、**何度も繰り返すようには記載されていない。**
3. 受信者は、不明箇所について、**不明箇所の解読**ができた場合に**解信**をするようには記載されていない。
4. 本職による交信は、カナで読み(原画で読まない)、受信即解読であろうから、信号文の全部を受信してから、一部不明箇所が判明するということはそうないだろう。→直ちに、再送要求の手続きが行われる。

上記、1~4により、交信方法は下記の通りと思われる。

受信の途中、一部不明の箇所があった場合

第16条8-二		送信者		受信者	
受信 途中の再送 一部不明 受信者から一部不明の再送を要求	送信:	信号文	送信途中	受信 途中	
	1 要求:	消信形象 ○○カラ サラ	再送の要求の信号が解読できたら形象	1 要求:	消信形象 ○○カラ サラ 受信途中 不明の箇所が生じた。 不明箇所の数文字前を“○○カラ”と指定 指定箇所からの再送を要求
	2 解信:	解信形象	指定箇所から送信(再送)		
	3 再送:	○○信号文 終信形象	指定箇所から送信(再送) 全文を送信したら形象。やや長くあげる	4 解信:	解信形象 全文を解読できたら形象

※ 他に不明箇所等がある場合は、1の再送要求の手続きを行う。

全文を受信したが、一部不明の箇所があった場合

第16条8-二 補足		送信者		受信者	
全文 受信後の再送 一部不明 受信者から一部不明の再送を要求	送信:	信号文 終信形象	全文送信 全文を送信したら形象。やや長くあげる	全文 受信	
	1 要求:	消信形象 ○○カラ サラ	再送の要求の信号が解読できたら形象	1 要求:	消信形象 ○○カラ サラ 全文受信後 不明の箇所があった。 不明箇所の数文字前を“○○カラ”と指定 指定箇所からの再送を要求
	2 解信:	解信形象	指定箇所から送信(再送)		
	3 再送:	○○信号文	指定箇所から送信(再送) 受信者からの解信を受け、送信(再送)を止め、交信を終了する。	4 解信:	解信形象 不明箇所がなくなり、全文を解読できたら、 送信者の送信途中でも、形象

送信者はすでに全文を送信し、終信形象を行っているため、解信形象を受け、交信終了

※ 他に不明箇所等がある場合は、1の再送要求の手続きを行う。

※ 取消や中止の後、再送や再開時は、取消や中止した箇所の数文字前、分かりやすい、切りのよいところから、送信するようにしよう♪
スカウトは親切であるからね♪



下記は、従来の交信法。なお、参考資料として掲載する。

第16条8-二		送信者		受信者	
再送 一部不明 受信者から一部不明の再送を要求	送信:	信号文	送信中又は送信後	受信 中又は受信後、一部不明の箇所があった場合	
	1 要求:	消信形象 ○○カラ サラ	再送の要求の信号が解読できたら形象	1 要求:	消信形象 ○○カラ サラ 不明箇所の数文字前を“○○カラ”と指定 指定箇所からの再送を要求するとき
	2 解信:	解信形象	指定箇所から 解信があるまで繰り返し再送		
	3 再送:	○○信号文	再送を止め、信号文の続きを送信	4 解信:	解信形象 不明箇所解読できたら、途中でも解信形象
	5 送信:	信号文	やや長くあげる(全文の送信を終了)		
	6 終信:	終信形象	受信者の解信を受け、交信を終了する。	7 解信:	解信形象 信号文の全文が解読できたら形象

※ 3の再送は、指定箇所から、(受信者の消信形象により) 送信者が送信を止めたところまで、繰り返す。

※ 取消や中止の後、再送や再開時は、取消や中止した箇所の数文字前、分かりやすい、切りのよいところから、送信するようにしよう♪
スカウトは親切であるからね♪

